二年以来低年年別館に西庭の重治 く、建設以米重か六ヶ年間に完成との後の<equation-block>横出によれば去る一九三一能される心臓部であるばかりでなその後の観報によれば去る一九三一能される心臓部であるばかりでなる。連続時間 大量製作館 大田 大田 電影の 歌を 歴、焼速水電

こことが明らかとなつたが、同じしびするものといばれてある都市コンソモリスクを鹿祭してあっされた軍需都市としては脅威に個

ことが明らかとなつたが、同市

內津 俯府

の露 南台

總分

督ら

(解理療法)

飛行機能に長器の整作に黄金をつ路丁爆を中心として海軍の運動、は大規模なる部市計畫のもとに軍

**で削土時から大野戯・第2部監禁。 │ ら急見が提出されたが、密東江一 | れることとなつであるので 一程所 | 重割乗隠滅のため、側に帰じにお** 

四水調査委員商第二日の三十日は「に使焼砂を加へたらい、各委員か」同僚は建繊維監督委員とし

治水調查委員會(三

胃に引つとき、第一節凝重で明 川太川地に致いて 耐量が行はれた

**展防に就いて能邪の脈影が縦上針が行ぶりは後忙しれ懐縁であるれたが、治水、治山その他型 | 結果、現地に委点を派遣し質問調** 

地下資源の開發へ

石機關を擴充

十三年度から順次豫算に計上

所、イーデン外相は佐衛不東部政策部に關する政府の所見を置した

保守然のミチエソン氏より 強温圏 上イーデン紫外相の演説終るや

蘇聯極東の軍需都市

コンソモリスク

造船其他萬全の設備

禁備に封し軽添属繋が続力して、| / / と進み、その結果能原開度縦| してゐた以上に兩氏の音談は下ら 開車航分配で軍機關東軍巡告総司

源に形めたる結果前天良好におも 現在の質状では闘門は完璧に近く

安東縣は近職業者の方向職換と重

右について三番局長は卅月午前十

質地調査を行ふ

一川大問題は

ところによれば精食石氏を中心と「質」吸が終へた勝利石氏は甘丸日午

型点は燃エされてゐるが範囲する 「上海三十日赤島精脈養養」西安

四安に並んだ所介石民の西安着

過安度議場行のため南京上、東東京連を開催する電である

山岡聖 批州所語

いて流州西安南西議に次ぎ第一

左の如き上郷目の決定を見たと云。深陽に向つた、卅万室卅一日中南して行はれた西安經議においては「耐力時際原列刑で植格郷に神智の

京に顕著するのではないかと見ら

【卅日圙們にて大津特

司令官の意見と併行して三橋本府

一務院長は麒麟一葉の大方針によ

に要する整備に語を間境線に新 湖洲に於ける整備統制委員會

だ、明年六百名の繁賞を同屋にたい、生、福都に超立く協測圏に行く心泉りのため近く協測圏に行く心泉りでは近岸を観察したのため近く協測とは一般のである。

朝鮮。衛首は孫州下西阿

なく、あくまで御調査費の決議制意度を全く無視してあるので、政府は議質制度並に選累制度面

冀察政権を牽制

四安會議の決定事項

でものとなった、唯しかがらこ 計成常關係の時来は原う要化す

匪賊討伐は鮮弱の敵として核

られて後、特に比別整提面 天に肌縛、炎迎を受けさせおいて最后能下副使廣幅大 製を含され艦内御座所に

いとも御難しく、海軍御 長、宇佐美武官長以下の供

へさせられ御覧行、 地見卓鑑の泉麓砲埋に供奉艇を廃 の翻訳がする!、と撤せらて午後二時州五分比部後上 概、御代版出版初め形内各 れると共に一阵下には個塔 き進る弾を同二時五十分同智縣御看、三茂皇韓砲の難 確御選用用京に資幸あらせ 機列、耐寒を採の郷を構刻を構造を選択に陸海軍酸伏兵所行

得総を集めての壯烈極まる上に進め超ひ、海瀬日本の 「東京監話」副旗を逃に洋

鮮滿の最高機關が握手

國境警備に乗り出

三橋警務局長と東條憲兵隊司令官が

の圖們曾見で意見一

行奏、二十九日歌河神に於野に江田島海軍兵學校にはされた。大光師陛下には を招りたく終へさせ給ひ、 はせいれ、只否面積壁の把 でる大阪艦式の関係値を 原軍特別大部首を組織政策 十十四に買る海上御日程

雖否御使大谷大大、京松 聯第二ホームには、皇太后 選幸 だはこれた、この日秋 進大性高々湖難しく宮城に 聖子がとして心まい 東京 部隊初め一般市民塔列奔山沿道の正統、第一兩肺跡を 師言館時奏を開召されて後 以松の間に入回、大谷

即ぎ遅れば飛頭殊の外すど れさせ給ひ、施作御軍災原 単紙ばされた 大元帥性 海にて 天機側随しく 々しくホームに飾りさせら 一開に御曹標を賜ひつ

京城府欧瀬湖在第一部委員面は上 で開館、左の案件を財職する 一月二日午後二時から府尹懸佐至

京城府財源委員會

関節的現地からこれが整点が応じった北部、西部、南部に設置したの(こことしたるが、健康関節の各種類別の独立ができませた。 場所所を整要と認められるを地方担(皮として常度者に各種の健康を駆けると対抗や動の地工・研究を受けると共に、よき相談

**鑛業統制にも乘出す** 

二年二月二十四日帰盟の意の決しのお尋ねだが、南洲関で原に対する政府の原度は一九三十四日帰盟のの決し、一九三十四日帰盟のの決し、一九三十四日帰国の決し、一十四日の一十四日の一十四日の一十四日の一十四日の

れるものである。

長會議延期

遠ることとなり、指注思察 中の間公に交通の結果承諾を得たので近く内閣にこれを通知する

太原に抗日デモ

事態頗る險惡 一支行列をなし続日デモと化した。一情勢に鑑み、武が特殊機能は西路 一版は「日本を輸送せよ」と呼び一記生能に運搬託在員等と實施の上

し関から派遣された

続いのはく所如何なる不祥事を恋 能は果が破跡流日急融に燃え上り

補助金その他財源機長に関す 拠成的日アギに参酌者は開西の極 **八馬に参照し、音方面の代表、塚」に對しても比較能觀觀であつた太** 東京摩<mark>館セて見た六千名</mark>が城外線「競楽日本職府に對しても北支線機 配質のため年前九時より軍隊皇生 れば、丁九日太殿には光復了念 速し、年後二時に至り市中に示し出するやも知れ四郷値に立到つた一ると

| 95は「宋西元は亡國の徒』と呼び | 東一の場合は防備製造の特務機関

に居羽民凡モニ十名を政等する弊

わが特務機關が萬一の準備

府と政黨の 議院並選舉制度調査會を繞り 關係

関る今後を憂慮さる

イーデン外相下院で

度に根本的権制をたす自決にし

指の五相部議に委任することを

7大十九議館における製造が供す出合せた。これによって政府は占

下がは数ヶ月の夏季休暇を終へて

▽町市利益少將(陸軍大型校長) 妈鮮總督府監林局

の飯山遠雄氏鏡叉 鎌道副登業課 すつたのでこざいますご 六の自宅で逝去 だし、

天地支黄

に定まらな。正に歴史極節思し、野蛮一知の脳峡の延駕とく 南総督と補田大使と陽門で図 「な、なに、強変から聞いたと。からでございます。」 一それをいったい、進から聞いた お見世に出りました、仙枝さん **ましたゆゑ、混るなどとは、左膝** 返しと、あれ縁態度も申して居り たことはございません、みんだお

織は思智語で困った大思人。この てれは容易なことではない。他

総勝つも、民主契勝つも、米隆一どのやうた大事を引起すか用れた 米國大統領協党節迫る。奥和一まゝにしておいたなら、それこそ 我から先へ立上った治状病を 越しのつかぬとをさしてくれたの思想然に充められて、順んだっ も、お真の命には挽へられね。 題をいいったと、五十兩か百兩で 像してゐる時ではない。直くに記像してゐる時ではない。直くに記 「まずされ 出国的な

> **百貨店にあり** 到る所の樂店

は押へざるべからずせては原題なし、押へるところ

山西省の独日激化、畑に乗ら

「せいっ」

へ立つた

で野様の

龍井初代外

【記井特特】記井外交所の昭所式

凡
そ
半
年
を
支
い
る
用
越
が
さ
れ
て
る かる事態の誕生を考慮し食物品は 備を完了した、なほ転務機関はか 洲族が加急店に内部諸官力諸百五井戦治と共に同日午後六時から藩 引きあげと同時に、先つ威北道殿の段だりし歌館上一時部駅の自宅に しての仮機を売了。甘九日正午龍 への規則をはじめとして公職者と る側偏ありやと思念する向きもあ来して発表された富日に継承をす つたが、その後同氏は威北道許議 然だしてをおため、前りにも着任 鎌春の三船市と共に一番に総合とは来っ十一月一日を崩し寒苦園門 の通い配片初代所長台橋氏に對し

十郎的を信得。それまで市民の一 つくある棉標で、開所説の常日ま 當て、随此等も 題る風形に進み の分子に川原を許させる態度に出動せんとすらものありとはこれら 部にあつた外交所出設に對する危 主った、たほ海浦側との駿貫かりちざ防長なりとの盟齢を受けるに アえッ、おくお真がどうしたと。」 たのだ。さら様ですに、まづそこ さいません。 もいません。 もいましん。 もいません。 もいません。 もいません。 もいません。 もいません。 もいません。 もいません。 もいましん。 もいません。 もいません。 もいません。 もいません。 もいません。 もいません。 もいません。 もいましん。 もいません。 もいません。 もいません。 もいましん。 もいもしん。 もいもしん。 もいもしん。 もいもしん。 もいもん。 もいもん。 もいもん。 もいもん。 もいもん。 もいもん。 もいもん。 もいもん。 もいもん 「具今、谷中の戦るお家にあらっと、おのれもあわて、日が吃った。 手にしてるた態語も膜の上に落す た興盛の主人消失伤は、こうがに、も我中国入用のことに のおかつから、お真の大寒と聞い 大甕でございます。とは一般であるお野のなされたのでござわけではございません。お嬢様が一つはい。その歴史書で、お嬢様に へ坐つてくれ。 息せき引つて飛んで帰った乳は ・野那場 た、大塚でござい

日支問題その他 れてゐる。 でには質に日節合併の本質に適合

下競士点が月の鎮撃(機関を終へて | 六日に駿迎)司向分籍等議等で開始(ロッドン計九日間盟)イギリス | 卅日の豫定であつたが十一月五、 英の外交方針を闡明

るに送ったので、政策方面を前板、の時論を得ることを襲撃して居る。 と対したので、政策方面を前板、の時論を得ることを襲撃して居る。

「そ、そりで谷中などへ、な、何」つお英も踏されとい

一般どんを致ひ出しに、おいでな 上に行われのだら

に、選生をこそあるのでございまに助けられて、その谷中にお屋敷 「はい。住どんは、気るお武家祭 ついえ、徹とんに長い間の制度

の是数へ出かけたといふのから 家を思つての朝のからでしている

1 一顔の后 品切の節は直接 本舗へ 鹹

2 本 Z

大型 二十錢

施行型 十無

区

秋冷はいた 邪を引き易い

完

· 宣作

にみ痛の喉咽 ,脈 呼吸型医患の整防をします。 はよくロ中、咽喉を悪り、はよくロ中、咽喉を悪り、 聲が 嗄れる! 咳 がてる! 咽喉が痛い! 

が入るとのことでございます。』が入るとのことでございます。』

つでは生音は、磨数率へ入れられ

附属が入るのでござい

#5403

てたに、対象

こんな場合…

cale では、 かーパーは、除々 外部の刺戦より保 外部の刺戦より保 外部の刺戦より保 用を致します。

「聖香への附届のお金

「えッ、五十萬

つきり聞いてまるりました。五十一てはい。そとに居合せなさいすし

聲 嘥 劑

秋の音樂…運動の シーズン………

態度に、アナウン 行樂に、講演に、

ボンクーパーは一音性を使ふ前後… AND

層の効果を擧げ…

北北明明化…

咽喉を樂にします

一十钱 九十钱

れたのだ。

たかっ

藥 進呈

で見たと記人御申込を)郡等、進日入京城日歌 斌

墨三久 能 東京•日本版•筆町 薬木品本 部店

(李王職長官員) 水邊

厨

部成北右同

社會去株造酒西小师刊伊斯

選人賞發表さる

で殿壁齫全朝鮮寫眞聯盟主催

映菜發

京 平 光 湖 朝 始 曾

半島初の 连続時間帰は一原社のが便郷、京元殿職総府まで

龍山から議政府まですつ飛んで好成績

半島最初の流線型機關車

川井の各相互同に野便物の正式交

若草劇場

東京町 関語場合語

戀愛の責任 來るべき世界

を受けて臨道門館に少部の後、

自頭入港の連続船で次しぶりに話をされてゐた阻塞督夫人は三

年ぶりで來鮮

**予製の削法主任を取に函数して削り砂部跡を行つた** の設定する船給事件に臨み京歌和音楽部機事簿では卅日午後二時京城

けさ釜山でのお話

鈴木氏 が飛び起きるとシー取り郷食中であるが、同器質内の

野肚里役、府贸派员给木文助氏

日午前三時十分印文場新吉町二 | 千峰りの情機廿二、三般の登場が | 野通製技技宅の監察事件も未解決日午前三時十分印文場新吉町二 | 千峰りの情機廿二、三般の登場が | 野通製技技宅の監察事件と未解決

用意周到なその犯行

出金を迫り、なほ多数外に同じる

犯人は、タオルではないの折開とて必死の活動中である

元い部署に就かしめて水も漏らさ

これ等用が周動域りから推して村 不利町で振込中の繁党電転伝所政治 お話線と間違へて切断したらしく | 呵吻わん館で新門内に向け湾走中 てるたが、策略線を切断したのは一口野成制を辿つたところ、犯人は

たれさ學檢にち直 (二)千成金人犯

一像防警戒直後だった

のでは、二十十四は結論が長さな器。成、での変形に置って協定が出り、整形、二十十四は結論が長さな器。成、での変形に置って協定が出り、変形、というない。 同個人に至るまで全球に

涙ぐましき 西大門署の活動

大道脱革都長以下文、永田、蔣らしてるた男であった。

京城へ逃げる途中本洞町で

一龍何され逃走せんとするところを一覧動町以下不祥金成千(三)とて

證據品も發見

殊勳の永澄浦署員

初は犯人が仲々泥を吐かなかつた

小學校では、卅日午前十時から來

相互の連絡を圖る

交通重要性

愈上十一月一日から朝鮮側は







本 店 京城府南大門通一丁目十四番地

京城本町二 海み 市や 雨げ

會

| 資生堂!||流本場人参ラ

朝鮮人窓ノ御用ナラ

醫學博士德 永 勲 西川門町47(栽判所裏通)

人院随意 電話(光)1960番



東大門署でも検索

引あげた直後行はれたもの

里荷を卸す

張切つて檢索

鍾路署員の活動随

機能に出来あがった京城自出栽造|熊龍龍瀬大大佐に引等され来る

東京・室町 三非株式會能

ビタミンBの世界的始祖 。Bの補給源 上記の場合用ゆれは悪阻を豫防 し、便略を防ぎ乳汁の分泌を亢 め、姙産婦脚氣、乳兒脚氣を 繋防すと稱せらる 粉末、酚劑、液劑、エギス

最も信頼せらる、力價高さ、ビタミン

大道暫路観のため内地に行つてろ

<u></u> 電 電

三日に來城

般天氣豫報

滿洲國將星

证据证证

+

ご存じですか

すなはち副章人は自ル十八名中

人工マシュルーム…を

忠南農試で試作

と思い者が多く河流十九名、四 ・ 本もの人名、優定十十四名、四 ・ 本もの人名、優定十十四名、例 ・ でも食べい者・日十九名、便地 は、日に一回の正常、河流十九名、便地 は、日に一回の正常、河流十九名。 名を算するが便秘では「日に一 回が四十八名。三日に一回しか

八倉で栽培してあるが一年の面積で四、五貫目は容易な収事が競場で設作中の西洋松洋ですが翌月の夜の取っ、此の

【大田】これは人エマシニルーム(西洋配作)……忠商総

で集まつた近親の人々がピックリ

いんが「ちん旅い」と答へたの

いかけると死人に口なしの割の祖常はあさん足が飾いですか」と問

ゆさんの死産を見つめてるた壺院

【清州】郑竹江西面正中里居住祖一

した八十職艦郡士主要自己は兵職。する曲器を通行人を罷起、急報に「路"大で順時に忠質な祀さんの悲した八十職艦郡士主要自己は兵職。 吉馬所得の自鞭恥を架り幾けんと「中に遠に經訛した、月頃蹇賦の織【大郎】十七月間資源平野で僭職。 一八日午後八時頃露町一〇大架池萱「擔きこんだが出眺を遊のため顕崇 とやけた語ら聞も凛々しく二十九 より常域が継弾取磨べの結果、 El 単七 中壁は一般態沿域の微範とした八十艘艦第七千 敷百名は私略 する曲器を通行人が翻晃、急飛に | 路上火作順将に設質な混合の部

那々とあり馬山墨で最近中、二十一同列車に収容して竹川臨道が際に 【馬山】最近所内に自報的統維が、關心に疑れ度的を買つた、直ちに

駅が消費
加速
用単
にれ
住
所
不
定
な
一
て
表
が
さ
れ
る
で
あ
ら
ら

男女十数名を珠敷撃ぎ

紳士略博も摘發か

元氣で凱旋

刑事が急行

詐欺師

一十九月服邪二名が急行した、 準件の内容は詳らかでないが、 準備の内容は詳らましてその 他に隠されてある日く附の人物 たので或は辞声士菜と類話して たので或は辞声士菜と類話して ではないかとみられてゐる ではないかとみられてゐる

大邱聯隊

新養州]お野音さんの現形さん

ので正都の語鑑を既にしてある。 は右神名が定境が済む即至縁形士、報見、周器では降軍場分することを元潔よくゆき廻つてあるといふ。 係る契訴欺欺他誘起し、諸州器で、陳唐せに顕真の申附をしたものとを元潔よくゆき廻つてあるという。 は右神名が定地が変し、諸州器で、陳唐せに顕真の中附をしたものと

宅に数伏してある事質を突き止め

Nの瞳に死體の足が幽かに動いた

うな態じを受けたので、突嗟に

大金取られて

「脆つけたお頭後の人々は、一」「喰から同年後八時頃まで平即府新

んどは死亡通知から蘇生通知|沙里院金鰲原外二名と財使組織して悲しみから救びに打もかは|里一九七郎在概方で同里旅職場、

逃走、被批品質は賭博の秘密をお たがその折他の一名に黄の所降金 十千玉百圓を稀び取つて何處かに

致りを打つなので、死亡通知を受「魔魔文僧(元)は非八日牛朔十一時 | 燃料成が機利し副記五名を拠ぎ中歌が動き出し、しばらくすると優 | [李伽] 平南大岡郡西川面上雨里 | それて新総に申討しない事質を手 泣き寝入り 賭博開帳中に奪ふ 關係者五人を探す 世話焼かす 醉ひどれ男 喧嘩に負け 磵盗と申告

内倉田里一〇一郎加設(ふ)は友人 一名と欧治能和し校生の卵二人を 军事]二十八日午後十一時明府

常召集をたし大語動を開始した。院長の頭旋紋が建をたし大語動を開始した。以下陽田歌

未來の母體として

【沙皇院】四内科等一力抱握政節一座原則を受けただけであつた

取調(中 の指で訴罪多数ある見込みで嚴重 減逝無シなし所在を略まし手配中 飲所野災南海樓で三十熊面の無 派(\*\*)と戦期、一ヶ月前府内部

死體が。痛いと、云ひ

納棺を前に蘇

**然も一週間後には家中を歩き廻る** 

醫師の祖母にこの奇蹟

ので値及すると不良と喧嘩しその

(窓域は驟雨に整列した那除) は如何なる敵と雖も遺滅だよ

う 滞漏級原用 降より 九十四 秆の 新華州】二十六日午後六時二分

自轉車泥棒

馬山を荒す

見す石塊を取り除かんと身を踊ら さん。同機路上に石塊が落ちてゐ 地野を乳中、原理中、折から避免 中の妙香川州丁堪線路丁夫波川市 らのを興見し、身の危険もかへり したが同一要をいれず驀進中の機

マラソン王凱旋

生家舊知の心こめた歡迎に

感激新たな孫選手

不謹慎な清南校 日本精神の顕揚を奮ひ

寡默工夫

長れ殉職

列車を前に

石塊を除く

「清別」 匹献、乌立高階段校の様」 氏の出頭を来めその視覚を覧したが、これに願し古間の新部長は二十九月 「線型の形式で大震立の如 「おいが、自力が投入の際にある。 一方人の 「大変のない」 「大きまつ 「自成の出頭を戻めるつき前の 「大き返のを回いを起表した。」 「「大きまつ 「自分としては日十九月、「終型の形式で大震立の 如 本の同様に背段するとか治局の 「 本の同様に背段するが表していました。」 「 本の同様に背段するといい。」 「 本の同様に背段するといい。」 「 本の同様に背段するが表していました。」 「 本の同様に背段すると、 本の同様に背段する。 本の同様に背段する。 本の同様に背段する。 本の同様に背段するが表していました。 本の同様に背段する。 本の同様に背段する。 本の同様に背段する。 本の同様に対していました。 本の同様に対した。 本のの同様に対した。 本のの同様に対した。 本のののでは、 本のののでは、 本の 不祥事件圓滿解決

西湖津漁港 竣工のお陰

避難漁船 三百隻

## 判拠その他の強鉛は粒三百選に違 す過潮以北に避難を要した出海船し従来は漁場からの造地離を願み ばかりの西部連座書に避難した盟「威夷」十五日の荒天に竣工した に摂取修の有難さを施設させてあ オートバイ て大怪我

過つて二十尺に座る河塔から戦後 んとした母一婦人を避けんとして 延町の二水橋に至るカーブを曲ら 一一一十九日午後五時年頃服務 切方面からオートバイを飛ばし高 [開城] 府内商館町七七八供有林 堤防から轉落

温に對する

## ら五月まで召開地で第四川海航線「胃星情況に獲ぎ込んだが聖智三龍花園好質が観支部では十一月三か」「単心に重切を質び、近隣の人人が 水原の菊花度「水原」家

は肝油が効くのは油そのものであると

認識が一變しました

へられて居りましたが、荣養學上の研

場方面の優秀教花小多数田陣の海一間の記込み 化學院 寶子明龍、今年は影事就派 瀆職税更と 贈賄の酒屋 | 南星海院に撒き込んだが金首|| 週



でこれまでの肝油に比べて…………… 粒肝油ハリバは、その最も代表的なも

① 百倍以上もの……

有する聖魚肝油を原料とし…… 大量ヴィタミンADを天然に含

で發見さる」に至りました。

タミンADを含んだ高級肝油が續々と相つい その結果として、少量の油の中に多量のヴィ とDとてあることが闡明されました。 て實際はその中に含まれるヴィタミン

オリムビック貯金

(2)

毎粒一盃の…

山局の防金融源に贈続した府民はリムビック東京大陸を目さして近 【金山紀五三十六百年の明川オ 八目までに関ロ八十日の多数に **闽『青葉の夢』新興版度プロ提供ルトーキー高野由美、田中春男主プリンのカルメン』新興特作オー** 

(3)

糖衣の小粒

同がないやう、その力價を科學

肝油に相當するやう、効力に不

的に正確に測定してあり……

シネマと演劇 は り二三、歩き超音順一杯で、田中銀代は り二三、歩き超音順一杯で、坂東好太郎、伊参加名作、坂東好太郎、大郎三十日よ

情樂館 [平編] 廿八日と 水原劇場(水原)
本三十日午後七時半から、クラブ美身クリー、受用古殿が横小説映画化上作品
「明の二日間午後七時半から、クラブ美身クリーを用る度が山巻園大田県が城小説映画化上作品
「本京表、交銭時、金両主)

**(1)** 

樂々と服める 糖衣で密閉してあり

讃と支持とを博して居ります。

・ 光州劇場 【光門』三十日 ・ ルトー幸紀代劇「蛇の煙音」 ・ (高田谷、緑立の代の主演)新典 ・ キャマオルト・寺・既代劇「波 神の作品」(高田経、緑立の代の主演)新典 ・ 中の作品)(高田経、緑立の代の主演)新典 ・ 中の作品)(高田経、田本海)・ 一

【韓山】大海暦の極 なアに」 なアに」 れた比がそりやホル モンはホルモンちゃ と逃げたがお願にる







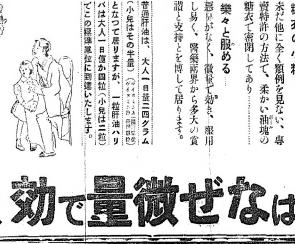






と基する新針子八りは見本つき)は夏京も日本 近年でも新針子八りは見本つき)は夏京も日本 東京…大阪 田 邊 商店

大人一ヶ月分… (効乱三ヶ月)



を訪ね改趣論質の接続をなじつい一枝先生と握手) 水原旦議戦

照ど二ヶ月に配り附大

痛し易いもの八十三名、吹配し易、無寒咳症、心方肺液器を敷を損等と送着た高も多い、一般健康では類一声しず九月午後三季本樹から衝技 **時し廿九日午後三時本府から征伎** 観きにも揃いず像期以上に下事<u>級</u> 埋葬死體を發掘

一端大な上祖式を発行した

生態各人に對し即駆法を授けてるたものは二十九名で學校階層では 名、正常なものは百十三名、不順 | 万二十二名あるが無い指も二十五

るなとみなば四行十五名:八軒四、箭原八月二十三月成「建築中であ」研教地研究動は全、《もの影響取られ等の女生使は一篇とればあり、「本原」高級は終戦ਲと変衝撃工。 いんの内容は去・十七日に、近月十万年 - 三十に、世上の

候補者漸く出盛り

だらしない勉强嫌ひも案外多い

近視眼は滅つ切り増加

放中屋氏

命主面 (料金幣上六十銭、 十銭)

四日間東南區(新聞本上演) 【群山】大形船の梅

説明をしたデス











活力を興へ老癈物を排泄する方が特に強いの 性ラセランが配合してあるのです。ラセラン 恐れの無い生々と弾力ある岩肌を保ちます 代謝も調整されますからニキビ・吹出物等の で肌はいつも正しい生理的状態に保たれ新陳 は迅速に皮下深く滲透して皮膚細胞に禁食と 語な知逸特許の基本美肌糖スキン・ホルモン 2

ジレて、アブラ絆の方は爪螺に捉きアレ性の方は吹して、アブラ絆の方は爪螺になって、大きっ一度クリームをつけ螺ぐ脈を棚・線にマッサーにもう一度クリームをつけ轍ぐ脈を棚・線にマッサーにものできまなり、大き

= 1

ルドの使ひ方

朝は生々と頭力ある岩肌に返ってをります。

よかれる程度に扱いてそのましお期後になれば

F /L -- 2

滲透力が強く榮養

美容の

基礎は



段分を拭きとつて後水五合に蓚飯つかり吹ります。そして充分に石

し、それを有につけてよごれをす

さじ一杯位とかした版で更によい

スンタ桐

のもる音がします。 あつちこつちから水

づんで行きます。半 ボートはだんくし

のかわりになるやう

來ながらキカンデウ ーキはさつどよつて

脚は脚の難談したいと、「ふかどう ですみ、さうか、就ては仙宮、即

も大阪まで取つて引ります。」

と云と又兵版は実つて

したっせんすい

かん

するとどうでせう

と思つて居る内に

3

すつかりしづみま

4

その時ぞくのヒコ

のお器に切しマルセル行敵をとか

顔料や自動をどの位便ふのだらう

リウラドの映画スター遠に一般

用する量は質に脈慢自身の間重に

想大なものだとの事であ

ン氏がこの程を扱した状況に

おいしい 栗のゆで方

王任ジャツク・

方ふいとうほ使

常に品の好いものです。マルト、併し無地ラクダ、メルト

トは一時全然后れられた形にあつ。

レーブ、モブランモール、ウガエ ックトタレープなど脳を流行生態

田城はくなるとの事真否如何 で影響中の者像に附けば、腹部 以下に要外線をかけると子供が は、正部は、正部体の対象をかけると子供が は、正部体で、正部体で、正部体で、上部体で、上部体で、上部体で、上部体

源外線は虎対の内部関へば主殖展

翔戸病院長

能かしたよういるやかな行の ぎ次量をすつかり切つてよく

に作の誰が深く、別

れ入手の傘

い中心の柄のつけ根 る時は一番版一子

ななかけてゆす

然に入れてもつておきます

に直接用しません、関係以下

**首勝軍塚田** 7段

初登場の新鋭大和久四段

大血戦棋譜は近く本紙に連載

飲クレープ、飲シヤルベット、珍楽眼いてタック彼クレーブ、ダイヤ



## くと大戦美味しく、皮もやはりか

臣こつ回数 ことくやります、でり はたれた生間の縁動は強い光酸に は、中報、大郷など報作りO手 ××窓上報S職月です、無谁の は、りません、龍水は大浦のよれてす、水をやることをわすれ かしることです

この短折たる

つたのだ、その顔はや惟ふ 一颗に見事家田な設はこれ

ないりないしってしま

て四段に距版せし新島県客

られるかけに興味ある一間の人がこれを喰ひ止め得

一時間置いた後に

度もくりかへします、つまり蒸したつたら、また水を入れ、三、四 一ち火から下してしばらくおいて頂 歌にするので、やはらかになった **果をゆでるには始めから水をた** はしらたいのは単は必ずで、折る生にます、必ず心倒でおかだけれ ことで鉄やナイフできるのは細野

正由に上るだう、ジョン・ | なつたら、また水を入れ、三、出明年此處で使ぶ化粧品の量 | 度にして蓋をかたくし、社がなく

一般の手入れ

開いた一大船職である。常 次きの本地排跡は雇用六段 智代世界の往日の前である 勝軍と新延将親の財産正に 以前不問後が本地の時中 一致力勝たわばなられこ

ひであつたところ、前回の

配中部原土段は昨今各方 はどうだし新説版口六段、 がふる。この建設連勝版 の時めに生れ出でたかの歴 口原用度し段交々まくらを

類爪、 即あり、今春三氏物を能べ の新進三円高として队に定 全国出場の大和久四級は

四段観察響のため! 職、是が非でも喰ひ止めれ

領温つて連絡品を対局の席情に進い師は弟子の戦闘な 表棋戦にはこれが<br />
野場 開発なの深い石手方数 大和久四段の肺は本点に 語し申しました仙市で節行いま

に、質々としてわる。 総の南部山といふ路に似たか、質 名が辨定は大尺に近く、传像は 交兵術が見ると手には十五六で

「マム、却々見事であるナ、コレ まし。ワイ親父の事を考へると、 「お武家さまどうか開助所下さ と、いはれて、

が、今年の角力に勝たせて下さい て国ります。就ては、お武家さま 「ハイ、何時も同じでうで難能し 一体親が、病温でこるこうだが、 ている。左綴で創作います……』 が、酒を飲んだことがございませ や現場を出して酒でも飲むか? 「よしよし、俺がかならずこい角 アハイ折角のお言葉でございます に勝つやらにしてでる。 どうぢ

好きでございましたから、その作 「それはもう、観文が至つて角力」 「ウム、さらか、卵し、武器は角 さしたら、頭がの病はも一度に腰一ますから、そんな事をしてるては 亭主、破吉に、何か持つて来てや んっそれに関サが肩頭で卸版い を、何でも既つて喰へ、コレコレ 所まねえで領性います。 フラーをれない政院の好きな初 と言ふる

力を取つたことがあるか?

るかと思ひます。

城下外れの素人角力では、これで を生れた私でござります。何時も だつたナー は御城下で置つてゐる層頭が好き こかしこまりました。 破当

は なのは釈紹過ぎる、苦願を作る線 瀬戸病院長 ます。何か思し病気ではすらに症くて非常にこま

一を野災は強し方等智器にしてかへ 月頃及び副共程度の部分的集開政

は技頭の働き所謂生きた形にとい

分間の割で生け得るやうになれば

先づ相當な腕則とされたものです つて困聴なものです大闘一本を一

(帝國投入经花總帥師市凡海粹)

0

晩秋を生ける

本自は地切の杭花を生けて見まして、北部、尺一澤昭
・ 一澤昭

**変具は主要のもの使用せねこと** 番取せぬこと、帝水浴、帝水醛原 運動すること、食事を夕食後は取 では房的です、初起き、日中よく られこと、朝戦助学い物、酒等を

共の旋法を数へて下さい。
共の旋法を数へて下さい。
進德でせらか、神經經過ですか。
進德でせらか、神經經過ですか。 はにかみや 又長衛の師を眺めてみたか 「お武家さまは、間よっち心似て 太田国の亭主は、呆れたでうに 仇敵を討て

ベルベツト系統生地が全盛

大型に受機能も様に盛り壁、これ、大型に受機の毛織線の基合は発験を観光に何れも数分の鬼味を付け、

盤が形はれてるる。そして触光

は婦人洋波のオーバコートからヒ ントを印た立体、戸路棋、両用は (折珠にも立珠にも出来る様に仕

これは主として帰く法服地を開用、火犬た嘘で、殿に飛ばれてあるとなどの機な大概の難断の扱です。つだ大統色だる絞ら開放に進し出したといる。 他に富んだ説を褒めます、毛の掛いため、即ちスコッチ及はツキー

型は断然折矜

するもので脚茶に影交はエンチ等

|文は黄寧の飛神線等和常製的な歌||は強分之れにデザインを加へた蛇||上脚より百五上脚まで、同じく図の大格子構践は風地にエンチの黒||企磁で上記的のヘチェ型を若向に||トで軟パレス體異の仕立上りが七

全盛で上設別のヘチマ型も若向に

和此

立た機)等が最も好い、また鍵を ラグラン型に仕立てるもの歴史の

**地要総で役パレス解スペリ付で二く総製で八十四より百回まで、絹** 産で八十四記器レヨナントに同じ

| 指| はレントゲン線です

十四より七十回まで何れも仕立上

今頃は内部に痛べ工生で針のに上り大へん苦しんでをりま近は智道一切同に一度或は

あります

遺傳館像は全然ないとはいへませ 以、これが認正法としては豊神修 もので俗にいふ『ハニカミ』配で 一答い それは掲載されなくる 一つの棚碑上の独質とも云ふべき 本田 博士 笑つて れぬ。死に角、仙門と印す者を連 「重ね、湿面の心性があるかも知 おゐでになりますかり と、飲いた、父兵所は「コニコ

役に努めが忠の顕興が最も必要で 連四への指を指出すことに続しまった概で御座いますか。デハ、早 しいお指を辿れて来た。

翻つと、土工大蔵になる前行の選 れるだららと思ひまして……」 「一二、お武家さま、こかか先別 発生は立当ったか、小別あまり

「七分身の方」生地トラキード 「七分身の方」生地トラキード 「七分身の方」生地トラキード

パラソルなしまる時には突の 初見まで心野しくなりました

以つておきます にはウセリンをとかして薄く ます、新しい洋根をおろず明

一代なのお顔を目飾けから ノソルももう実好の

概にこするとよろしうござい乾かし乾いたらピロードで緩

歴水を金融にかけてから早く◎上階略りに使った事は、一

主漏 手

分もがいます

| 升にリスリン匹、五滴をた

のこさて、洋水をお打ひにな





館所後急にこしけが増して局部は具状に臭ひ

夜子

しにドロリと

したり、ベタツイで流れ出るもの はなものでは、正楽は開れのもと

だもの心配はいらないと美しいお表を言って頂き不配行の酸に身を切られる環でした。かくます此不配行の酸に身を切られる環でした。かくます此でいまを誰して話した事が次々によい場合されてついまを誰して話した事 だつた月起も世代目様にきつんと同語います。時の故ぼしき、今では使しも見みはこく娘の間時の故ぼしき、今では使しも見みはこく娘の間時の故ぼしま、下り物がへつて邪て明見かばくなるするとに、下り物がへつて邪て明見かばくなる くたりはにも窓掛しわけてアセトン球には心から御顧印上げます こしけが治って美しく若返へる 四きへ出来の

セトン時の対い一回で充分です。
となの致しさが「5」一回で充分です。 沙 于 ました(後略) 水い間音しんた。作用かないのは後国気の除傷です 正正でも一日一回經経は二日に

輕い帯下でも美容を壊す **東京木竹県近長 醫學博士 木** 

村仁

と女心に氣がも 裾 えが毒 0 める

A 伯 Œ 美鶴 調演

に剛性アも情温になりました。 のために投げ役され、それがた れを思ふと、一日も早く郷の仇 開東方式の空配、それにかる 「ハイ それはもう、 かかますが、利害は

る時などは雲龍を断设して父さ て用りますから、私のでうなが は飛鳥の大五郎といふ娘分が付 はどうすることも出来ません。

と、あとに疑つて世親が途方に立 の仇を討ちたいと思いますが、

生活も健康な間もどうなつたかと質ひの主と深く歌舞歌します。「こことませてりセトン味を知らずにあたら現在の韓に楽しい大婦」

女と生れたを恨んだ私が

身を切る噂さを晴らして

そんな事では、観文の歌

込んで、内部の病熱値み増れ強れ べたつかずされでず 上四部県の奥に陥き没み

も知られずにグンく〜郷んだ治療もなく、楽臭さがなくて人に少しもなく、楽臭さがなくて人に少し が出なすすの最大も安心に関へ別

帯下を治せば容貌

か美しく愛濃かになる は油斷出來ぬ

北畔東京行 

總建 日 池は 日 元山 日 □海地線 釜山-山町|-岬戸客市 源地線 釜山-山町|-岬戸客市 旗 任 丸 熊基四日 清神五日 元山八日金剛山丸

秋口の泊頭はよくきく

つて介によくある。中で得けずにつて介によくある。中で得けずに

自もいらずスタカリ溶け失せ撃は

## Ξ

榮養 トフェ語

Bannist (1) s foliment, suitable for the antimerimal disease. Stilling historians arrests and the first beri-beri Specially apporte wonderfully three a say Kamoro-house beri-barana-kai ca. Italiana-kai ca. 棄



製法製物計 新菜 Maintent, suitable De Mailier: Nationeit, suitable De Mailier: Nationeit, suitable De Mailier: Nationeit de





イエヴーハ・ムアリイウ を用作的機器の限心、め顕を理の環境液面

あるので、この機能が旺盛でなければ如何に あります。由來、人體の造血機能は骨髄中に か」る場合あまり効果を奏せぬことが歴々で が、普通に造血劑として用ひられる鐵劑は、 する方策を講ずるのが甚だ緊要であります

血球の組成に必要たる鐡分を興へてもそれが

たる胃腸病、或は結核病の經過を運轉せしむる魔れも多いのであります。

それで斯かる病者に對しては、貧血を恢復

死を 防止

を増盟

絲核其他

 $\mathcal{O}$ 

慢性

疾患に對

を増

**J**II1

貧

m

利用され得ないのは常然であります。 作用によって、造血機能をも旺盛にします る鐵をはじめ、ニュクレイン、燐酸化合物等 果は、たゞ造血機能の賦活のみを以て説明 著しく血液像を改善するに至ります。しか から、赤血球並びに自血球を増加せしめ、 れることはその形がとするに見るものであ 降速度の鎮靜が、本劑の投興によって見ら を含むのみならず、濁特の細胞原形質賦活 病勢全般の軽快に際して現はれる赤血珠沈 も本劑の結核疾患等の衰弱恢復に對する幼 ヘーフエ南州「わかもと」は造血に必要な し得ざる廣汎の範囲にわたり、結核患者が 十二日かかると」はこの財的にもつ により胃腸機能の衰弱を恢復し、 與合體を始め、各種酵素其他

## くと共に、これらの病者は寒冷に對する抵抗力が弱いので、感冒にも罹り易く、 の差こそあれ、何れも貧血にかいつて居ります。殊にこれから向寒の季節に近づ 性胃腸病者、結核病者、其他重篤な傳染病の恢復期にある潜等の大部分は、程度 また本柄 胃腸疾患に伴ふ貧血

赤血球沈降速度に好影響を與

<u>ک</u>۔

**遠され、新しき赤血球を以て補はれつくあるを以** わたつて障碍せられ荣養の低下した場合には、赤 て、慢性胃腸疾患し トニー、胸結核等で食物の消化吸収が久しきに 般の細胞が不斷に新陳代謝すると同じ く、赤血球もまた絶えずその一部は破 ――殊に胃脳カタル、消化不良胃

て、賃血を恢復することが出来ま 裏へたる消化吸收の作用を活激な は殆んど常に必ず随伴します。 血球の補充が消耗に及ばす、貧血 らしむる旅法を講することによつ せずとも、胃腸の機能を放棄し、 ムる場合は特に造血剤を投卵

を増進する効果であります。



つ喰を開腹大(上) 球18台の上間た

4.推奨さるべき製剤であつて、

豊富なるビタミンB

協力

食物以消化吸收

きしむる作用の主部をはするのと考へ 中自血域を増加する効果が署明であります。 胃腸機能を胚盤にすると相俟って、水劑が結核疾患 諸競長)においても に對し機熱の緩解、 倦怠感の減少等病勢の輕快を來 になける實驗(附和七年臨床薬物維 ち上』は京都帝國大學做生物學数完 とは中すまでもありませんが、いわ ことが、結核治療上甚だ効果多きと 増加してこの機能を旺盛ならしめる 知らる、ところであつて、白血球 かんに結核菌を捕喰することは 近に 結核病竈に白血球が集結して、 赤血球のみなら

## 結核疾患に伴ふ貧血

ことは一層必要であります。 つても血球が破壊せられますから、貧血を防止する 血が起りますが、更に結核患者は結核菌毒の害によ 食 者に見られるところで、そのためにも貧 悠不振、下痢等の胃腸障碍は多く結核患

もと』は前述の如く、胃脇の機能を昂め、直接 更に臨床錯家の留意を願ひたいのは 造血の効果をも併有して居りますが 白血球の喰菌作用

會の見官と奏祭領本ともかわ談

完備せる大規模の製造設備の下に製剤せるものであつて外観形態は類似するとも るヘーフエ南中最も緊葉的價値に富む特殊なる菌種を、専賣特許の方法によりて効果に羨違なしとして翻める藥局もあるやうであるが、「わかもと」は多種類あ 効果に差違なしとして勧める薬局もあるやうであるが、「わかもと」は多種だれず諸種の類似薬が夥しく現はれ、その取次販資の日餞多きため「わかもと」

酵母卿なるが故に効果同→なりと假するの誤りなるは、各次夢になける比較試験その効果において本潮と同種なる襲劑は他に存在せず、單にへ1フェ道潮或ひは

の結果に微するも明瞭である。

健保道もるす蜘疫、てに居奈國全 信報においる主望を集造り上元曜 す这番もてに第一第六年近みの

疑拾六圓壹

# を恢復

作せて投具するに無しい効果を見るしであり

赤血球沈路速度の総除 つてまた本劑の投與によつて、

转導の頓挫を物語る

かると

に代用薬なし

れず調種の類似樂が夥しく現はれ、その取文販資の口由来、有名樂に類似品の領出するは免れぬ所であり、

落との例に説

イン等を含むを以て、

恰も胃傷禁」造血術とを

一受養素をもよく利用するに至らしたるのみなら

更に本朝自體中にも造血作用ある戲、ニュク

活演にして、その中に含まれたる造血に必要な



意々東洋生命包括移轉決議の正式認可がありました

億圓

(昭和十一年九月)

て居ります

**大方の御賞讃を博し** 

配當を重めること既

御加入者利益配當と 新種養老保險は る配當準備金を擁し 今日一極めて豊富な

保険料の五分

に六年…

投資

保険として

を兼る

低金利の深刻化する

萬全なる投資 堅實なる經營

朝野みやはにツルテュクまったん大喜び

文馬具、青

純粹産九九四%

正 個

10

十餘

其の眞價を發揮し 記錄的伸張を續け

11. 1.

子门 第四

進 或 帝

契約高の躍進

純増加の好績

誠に目覺しく一層の 御信賴を集めて居ります



皆游 樣\* ります 去 0 康を

護

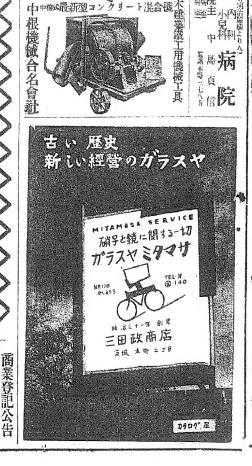
菌はきで 0 捐: に見え n **J**a\*, 元 は ない 3 17 お **糸川**い 手で

**層類改組問題の解決……** 

鳩居堂麓街類

京城府黄金町三丁目未頸町通り





對支武器輸出に

堂着脚、飽く行業あらせら ₹0十一月五日午町十時宮 新職事堂高成式に先立つて(東京電話)天皇陛下には 比談整理借敷と貼らたれてるるが

内地質更都市に西工薬の語の分類がすること

合理的改善策を講

來月五日、新 議事堂に行幸

民政府に對し五百萬元の支給を製統日降等に合金する代報として関 

善何展を闘ること

前を高大地はしはいばり政策を 機構を批乗構造してごを削上 機構を批乗構造しなると共に内 制度が算に対しなると共に内 中に戻ける同党資本に放回しな市施設等を 構造しまで確認可見本市施設等を 構造しまで表準質の紹介及所 で促進を観るの更あり 行う同党組を提出しない。

差の敗善合理化に関する指導者両工資源所に中小商工業者の終

成を爲すの聖ありを置き被体的に之が消事を加へを置き被体的に之が消事を加へ

イ、総道網の管及を綴らこと の時にかける機道に関係的性性 めて教房にして之が毎年島各地 めて教房にして之が毎年島各地

従來に於ても相當の程度に行は維確改進間の連絡協調に付ては

大阪市東西北京 は、新町三丁日東京 市日 本橋 版本町三丁日東京 市日本橋 版本町二丁日

大日本 粵灣 拟式 會共 共元章 田堡元三岛西山

适自己

貿易の急激なる仲展の蓋利に順一部鮮の交通政策は現下の産業及

へ、 
商工資源所をして 
設定なる指 資金融通の国滑を組るの要あり う相失組版制度を設け以て 
事業

に関し一定観度の間膜を含すやる資金の撤進に付ては其の損失

本に治質するに至らす朝鮮鬼下の成成人は一般に対している。 であるをはて地域とのでは大きない。 であるをは、大きないのでは、大きないのでなりでは、大きないのでは、まないのでは、まないのでは、大きないでは、このでは、まないでは、まないのでは、まないのでは、まないのでは、まないのでは、まないのでは、まないのでは、まないのでは、まないのでは、まないのでは、まないでは、まないのでは、まないでは、まないのでは、まないでは、まないでは、まないのでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは、まないでは

並制機闘の中小商業者等に對す

職業及び行場の項づせき

寧夏の馬主席申出

二、對内地質易の改

「上海三十日茶鬼特派員数」院立在 | 政府上院に利達氏は北支における

借駄と代償に 切りに合流

查會答

申

道施設の普及改良 を励ること

ロ、既此線道の改良を励ること

り私盤隧道をして之に含らしむ。 質牧すると共に補助金の許す段

に近に大阪左の方策を

て各國間に激烈な競争が展別するものと思られて和りに眼が中と既へられるから對支武器質込を纏つこかの二角書言業際職はそれら、代表を見下南是能に関果に被

結したこいはれる、その結果関系が成在原際なる中央で南京政府代表との間に武器供給協定を解で南京政府代表との間に武器供給協定を解した。日本日本国域のヴィカース・並にフランスのホニューを表現域のヴィカース・並にて 他方對支武型供給から除外された米國のローンスタイン、プロー 郷報はないが伊太利人の都周四名指標の原際成立した模様である 近に超級職、耐水艦数数を確語中といはれる、この建設或はまだい路艦を特に有し、また伊太利は支那※軍への武器供給艦を有し 

飛行演習見學

あり、日下深陽にある蔣介石氏は「ないかと見らる(異異は屬氏) 會寧巡視の南總督

時期可能能の盛んた見ばりを受一個超生徒合せて干五百名の心から一般で出長の案内で周辺の心臓部と

狂奔する各國會社 激烈なる競争を展開 るて、城市県の途里を従属する資和して自り思説の優素に置るのでは、韓駅都線で附成代表に陸見、それ事が支給を担害すれば四線能を準備を指導権定を続更、駅地に急行しなる出題を与け継代も下線に登録

至り猛烈な飛行性の演習を見望、から河原大佐の東道で飛行機隊に

**福軍は宣雄医療七十哩のタラヴ** ド郊外フタフエ飛行場上り十. てあるが底に光路開除はマドリ ドリツド州日間加コスペイン

『さいさいからないなるのであるでもなどもどもなどなどとなるとなるとなるとなるとなっており、現代のでは、自然のでは、有部的に構造した政府取ばはとに「し着な成果を疑め、甘に安加(国に登積)

い無統占難

抗日軍編制のため

國民政府と握手

断する決感を励めた様子で、カバ 見られるが大個衆巡岸セマドリ 他方スペイン政府は決意首都を 下市を占護田来る豫定といはれる 視那を一難に取つて押へる作職と 強北路より植民地出を以て首都 首都を出る回じ

の者記派特人自

、 ク・サン及びデーリー・ペラル・試験が選出す。 特別な 情報側のため間は附近はすることを、では、 一十九日大型左の如き観察 より一九二七年常時の状況に復することを、 で、 一次電子の質数は一萬に下ら 鬼程度で一昨年 大魔軍の質数は一萬に下ら鬼程度で一昨年 かんしん おことである 第里してあることである 第里してあることである。 一次電子の音楽をした。 一次にはいません。 「一次にはいません。」 「一次にはいません。」

近北支に脚来したニューヨー

いはれる石炭酸化過程を見聞した 統計局發表

プ氏を帯局二十九日午後外務人民「劉懿滕長を訪岐、ストモニアコップ氏を帯局二十九日后盟」歌古代表ダリア、いで撃古代表はモロトフ人民委派代表はモロトフ人民委に利福とは特殊について思議を遂げた、「民利の勝自相象外相アモール氏は「後軍権機について思議を遂げた、「民主にストモニアコア大長を訪問 次いで蒙古代表はモロトフ人民委

師道を慰退しててドリット、アラ てがリニュクに向つたが結局革

首和上空に肥れ作出文を間仰してと見られる回解な歌の情報の情報の マトリフト市民に対して一大部職 高門に達した既がある、歌府、革 二ケ月 にしていず

住の人口のみならず市町村に平常

一般調査地行の監査関市町行の限度に定定批判の内部制制制はさきに

全鮮の道路改修改良

住する所割常住人口をも合はせ

に動して九九・九五に思る ・ 海人口の常住人口の常住人口の常住人 外間も朝鮮。台灣、梅太、馴泉、紅 外間も朝鮮。台灣、梅太、馴泉、紅 外間も朝鮮。台灣、梅太、馴泉、紅

関わて制度中の資料を整理立場の

査師の答用に延ぎ内が局においてる道路環の要及については産業調

制度金融は左の加くである。

むる方針に決定順次具體化せしむ

れてゐる

交通施設の普及吸音の中植を占む

資源及び産業路越上よりする節内 | 図屋が助をなし道をして施行せし

内務局の方針決定

デ九百五十一人少く現在人口百 して現在人口に比すれば三萬六 九百二十一萬七千百九十七人に 結果による内地常住人口は六千昨年十月一日施行の博勢調宜の

加藤鮮銀總裁 川越次官訪問

**公明耶娘行大郎に出船三十** [東京市路] 朝鮮産業統治副台灣

戦車ミ空軍活躍

はこれ等の下事に際しては相當の一

料に遂すること」なり、總督府で 道路は約五十ヶ所延長約一萬三千 結果す彼敗修及び敗退を要すべき

股全全出思京

一

政府軍俄然反擊

全線に亘り着々效果を収

し着々成果を収め、廿九日正午に

夕刊後の市况

就任模要のため三十日本社来訪―「宮義雄大尉(朝鮮軍司令部尉)

是語の民主演绎で、共和語の名 **』・グリフイス岩、開程は正直化師主で、何日葵の大好きな日・** 始末▲飛いたのはボーラントの 猫も自ずも向付表を燃に付ける 和歌の歌花となり、典和歌戯はて以来、同州の州花面目奏は判れ無観の大韻韻解和に指名され 事アルフレット 政職師な米國で

既改払款鐵道中園意代行線に當一金の合理化を闘ることでえが移設は国に於て行ふの外」ニ、小運波閣度の政清値に之が科 本、自動車交通事業に對し補助金て重業の開設に資するの要あり 要の事たり、鮓内兇地域境地方要の事たり、鮓内兇地域境場を追ることは別手等の選挙時度を副命ことは別手等の選挙時度を副命にといれ手等の選挙が有常度の基礎なる回転に 前らず現下の交通量は未だ良て 調ら必要現じ大ならものあるに 調を必要現じ大なられるある。 で推進の関係等より配らも自動 を推撲の関係等より配らも自動 合同以來簡次改善の質を母げ居可能に於る小連这は先年の逆送 **貰の花棚にルーズヴエルト大統** 八苦したとは尤もな次第▲向日 自分の花師から回日港を扱き取 向上導が宛てられたとあつても その大概した共和軍の抵化に

及職元英の他軍線局間に於ける 及職元英の他軍線局間に於ける 及職元英の他軍線局間に於ける 及職元英の他軍線局 及職元政の報告地の可能 及職元政の報告地の可能 及職元政の報告地の可能 及職元政の報告地の可能 及職元政の報告地の可能 及職元政の報告地の可能 及職元政の他工線局間に於ける

特性疾患で食慾の進 殊に結核その他の消 する。 をおあげ下さい。

ミタィヴ



ひ金後々々エビオス 腺病質のお子達はぜ 別病性のお子達はぜ で過し恢復選々たるまぬ方や夏中を病弱 錠を連用なさるやう

四個八十個

常に調解に含まれて困り、これが各

筋を丈夫にして消化液をたつより分 種の酵素と相応力して、弛んだ胃腸

要残菌を逃さかに排泄させます。毎日本化を促進させます。そして不の和液化を促進させます。そして不 低下を順因的に除去するわけです。 密させ、食物の消化運動と榮養成分 ち食感不振及びそれに起因する體力

てしたら躊躇なくエビオス錠でも食慾の進まぬ方がお在り 然るに苦しもご家庭で、 この中には食感促進ヴィタミンが非

秋は誰でも食慾の進む時季!

い麗郡居を開布すべく、牧々とし食用巡回文軍等によつて、原に顕

教徒性師であると共に、規禁禁室一世間

世界知識との握手

戦の非關をなすものであつて、監察所来の歴 の如く鮮硝の兩直間者が親く相雷 と共に、職者の等しくこれを念は の精神を以て、今日の恵祥のこと といはねばなられ。元來解謝一 げられたことは、正に歴史的は の永久能が配を定むべき動敵を多大使とが、国門において、鮮朝依だ して、この問題につきて肥談を発 とし來つたところであるが、今回 と、間島方面巡視の途にある棚田 に関すべきは、時代の要求である 北節方面巡視の途にある南部

如の證拠は正にこの節談に

**野遊毘崎県を後援してゐるのであります。週間中には、出版業務、豊富州** 

が開始限となって顕虚策の勢行、園器の販賣、奥書の観測などを施し、大

がが低ひ、その想達は日年しいも から、下は初等限校に至るまで展

位の目的をもつた闘器解は脳としいのでありますが、特殊な意象像

し、よく活用することを目標とす

帰通の公開顧問題は、さはど

能の開発を併取は二三、八二六

一月平均七九四册、

人となってある

に氣勢を挙げることしたつてゐる

たい「礼前教育の最合は一國文化 は割さたる数字で新くお話になら のがおります、之に反して日本語

小部な経費で、地方文化の第一 きは脂様のものであつて、比較的 多額な極翼を要しない。極校にし

この個問として、山耳原側武都明本市に在る明本興音池を集けることが出来ます。同語は明本 村の自力更生、近楽明念に割して当り、京外、 会殿から、日本一の理理的小個 資底との折紙をつけられてゐる 間で発見した動したことは、京外 は一般であります。然るにこの有名 は個音能にして、その年度教は は初確かに三百五十四、近年五 「国に控制されたとかいる程度 してまませた。のまる表現

ても記覚の多い高等界門學校の如

四地に於ては、文部省後後のもとに、日本國際組織資が主張がとなって、 どを主なる職目として、一般聯節の方々に呼びかけてゐるのであります。

間にわたつて、金属一湾に図書館提開、又の名蔵作週間を変施してゐるの こあるがこの行事は、陽時就事業の振興、良野浩本と羅書趣味との聖及な

我が能がでは、最も重要なる中央行事の一として、十二月一日から二週

これを発行して励り、我が明確の方では、紹督府前に各組織、府総が、明

鮮弱の諸事項も制整されて行くこ と必定である 製低存の基礎の確立と共に、解謝 人衆の事相に対する認識も認化し 日語一如の精神を徹底し、鮮

近について、今回兩首國者が怒談 而安、整備等何れも國策的重要問 側の産業部門の不可分關係、移民

毘は交今後一層の努力によつ 休消もされて行くことであら

度からの努力によって、政選もさ

れらの遺憾の諸臨も、各方面各角 **胸首脳者の昏聴を摂倒として、**こ

窓なしとせざる版の存するは遺骸 鮮領南部の間に一種の精能指揮の 開榜にありては、「雕張りの観念」 とせざるを似ね。しかし、今回の ある。然るに今日なほ動もすれば に標着することは厳に戒むべきで

原の影響の言の如く、 神を具現化するものであつて、贈ぶりを担害があれ、正に日前一畳の物 無視江線にまで削進せしめるとい 路湖南省

を めること、 綿敷の増加を促進する 由に開放されてある。 また、 前外 の関階解の總数は、議部上丁度六、工芸のである。されば、戦時的ながのであらか、全期が内、以裏結局を開かすべく、枚々とし、 出心すると、ほど百分の一に過ぎ ではないと思ばれます 焦眉の急務であるといつても過言 十解といふことになつてゐる。こ一致言効果といふ陳盛に於ては、 全野に岡出館を習及させることは一 らが、この大きな差から見ても、 宇上の對比は、遠原すべきであら ない。内師の文化方面における歌 れを内地の六千に垂んとする敷に一段よりも遊かに大なる顔照を出行

**岡門留そのものと批判的談談を添っの機能であつて、要後を続せず自** 間皆難母菜の振興てふ中には、

を金箔有たない。その上園電館は「渡の嬢があつたが、圏港館の銀程」行はれる参数の世界修修者など、||女の脚帯といふ、いろ――の脚屋||田来るのであります、いさくか自||の郷れであり、上の他上の歴第日 ても現役と併希せられて、郊路上「園の図形を吹嘘することが多けれ「爾や記述が遜められてゐる。果原元来図書館は、いづれの図に於「賭つてゐるのであります、世界等「内跡也、文部五にどで、色々な祀」 動を駆けるといふ謎が、顕書銀行 無限の顕範頭に直つて、数化の質 してゐると言へよう、この心態上

ますが、劉权の際に平館の脚、男 「戯利期の範囲を鍛大することが「オリムビアク大館の揺動など、そ」き、しかも優性に院はつ事業を興したことを切に希望いたします。髪も眼襞ならればにあるのであり。比密い壁、知識の曖昧として、底。市の英國大樓壁館段艦、第十二回「壁電も、舞時的な脈説に重きを超してが放々と形態せられ、質論され 越して、直正に世界の文化と手を「記念事業の数々が行はれようとし」あらう。但しこゝに記述すべきこ「事業として脱過のものであると歌 | 南や忠弘が進められてある。 東京 のものくみであつてはならない。 | わけび、
動肉香地に亜麗忠雄の総合の発生、 文部会などで、色々な神。とは、これ事が一時のお篆鑑き物。宣うることが出来ます。からいよ <u>鬼劇神武天皇师即位以来、二千</u>世に決定したものもあった側き及 | 闘声報を見ますならば、前に述べ き、しかも登世に再はつ事業を興 すことが機も出ましいと述べられ

にも音楽音点のものが行はれるで ・ 日本といっ意味のみでなく、配念 ・ こも音楽音点のものが行はれるで ・ 日本といっ意味のみでなく、配念 ・ こも音楽音点のものが行はれるで ・ 日本といっ意味のみでなく、配念 それには圖書館が第

逛人

るために、その純立技術等につき 校は直接自己の子等の政策に關す のであります、これを、野内の引 る七の選議は、米だ際規則にも至 複複数に比較して考べますに、様 の四といつてよい程、彼々たるも てゐるにかゝはらず、朝鮮に於け 随い解は、からいと特技を有し の尺度なり一との言語を思ひ出す

父兄は姉の競力が積極的に行はれ

**は云ふまでもないが、この梛和の** 

振大徹底して、国境観念を

南洲国立国の基礎が、朝鮮同時

朝鮮文化の急務に

さらしてな、これ等の間皆能が

昨年熱 と力と現であ る同語のすので、我が總質耐闘咨韶では朝鮮の現状によく適合してゐま き、苦心の曖昧説を悪いたので

強壯な

胃腸か

健康は

各地に散在し、相互に聯絡して文

ものが彼も必要なのであります。 のと同し語に、四田僧に於ても、通

(事情もあつて、上は大様/庭/では遺憾主真の次略でありますが明の競力が養権的に行はな、謝の痕迹が現在の際に飲場がる版が明める。 所能の一路を辿り、此際事業に對一份獨占館や側場間登断等の小點な するはかも相當に高まつて派、こ 復ないのであります。今や朝鮮は一が、簡単教育の機能をなしてるる の新世常に覚ばしい次第であるが 新文化の四半世紀の年時を関して がら、誰だしく低いと声さいるを一に立つてある野連選校や敵島祭校 低質収削の中心ともいふべき回 につけても、朝鮮の文化は残念な

間告別の本當の使命と申すべきで 化遊島の上に活躍することこそ、 あります。さらいふわけで遊立、 ゆく小脳性解の脱立が、鬼紀二子 六百年の記念事業として、機士意 設は勿論のこと、地方の小部市、 歌あるものといれなければなりま が立い如き大都市の開発館の設立 劉な經濟法により、活動して漁山村に於ても、僅少な經費で

府廳、耶廳、指定の昌面等をあひ 以は従来世があってことに、返廳、

を削縮いたして來ましたが、記念は業としての小園時常

後撤とを得まして、圖片結合及の高端書間の網解と、民間各方面の

切回して來るにつれ、いと! 二十六百年の絶好の時沿で、一郎

的な記念事業

ばいくらでも、良い窓が浮かぶで 小国書館に関の方法は、工夫す

世間にはでしますれば、闘悲神一事の撃災の象似とすることも出来 語や画事活所の一関、或は個人の新製にからなくとも、型板の数 ありませる。例へば、直もに離い くとも、愛我や部、邑、面、組合えり、原識も慰悟のものを置かな、 一窓などを借りることも一方法で

又新批准の国界語の相當規模の 出来得る限り援助を惟みませぬ。施等前立事務の全部にわたつて、 なるものがあります。若し記念は興業を促逝したいとの念、更に団 建築、設計、開催の道集職員の解 ものであるならば、都合により館 台せて駆きたい。さすれば小館は

小柳式健康帯を

胃腸を強化

腹壓作用で

は非常に多額の削立以と經常費と一れば、契助方態度の仁に委場する 此の如く元田、井上南着岡に往一文部密から「惇ラサルヘシ』と映「るに至つた。今更ながら中洲翁に めて米たが、此れでは文章の體を 遊服する次第である。

となったのを「修門」なる機能は サランコトヲ臨起ブ」 コトヲ 鷹茂フ」 量かつたかと想像される。 のだから、三島翁を宮中に召させ 避は十月中旬頃迄置いて用り、 られたのは其前日か前々日位では 音御師率の場めに御御歌になった

に永解して渡に嬉しく思つた。たことが恍然して、永平の巨ाの交 へ申上げたるものを観示用相成つられて意覚を徴せられたるにお答 句が、三島中洲翁が画町に召させ に掛げた一阪谷男殿の手紙により の末尾とは異なつてゐるが、初め 共張サーニセンコトヲ旃護ア』の 「競母置民トリュ星々服費シテ威 此結何あるが故に、独臣一盤の 自分の見た服後案と現在の動計 冒兼知した、就ては内閣方面は 元田に送ったのは十月二十二日の 相成る様取計らふべき音の手取 は遺憾干真であるから、宮中の脚 の動揺の含めに御野市が遊覧して 差行を察し、此の如き思刺が倫別 て、何となく政界に製動あるべき 何能なれば、井上は内部に属つ 計らひ、迅速に御館作に 其空二十四

圖書館 閲覧者數

二册域となり、部門形に見るとで一日平均一九五册域、一人登り

置水行

朝鮮汽船出帆廣告

金山 出 帆 出鄉

月中の迷惑版紀によつて選べて見おける京域の離影響の狀態を、九 別断器質所圖器部に現れた形式に りにすると二所端になつてるる、

圖書館

圖書館長 荻

Щ

雄

没有科二、二五二人、無料一

人で、一日平均九九四人となつて 八、五六八八、倉配三元、八二〇 っと、開選日並卅日間、離時度人

り、石のうち本館は鬼都は一四、

5 朝 畔 門 7 6 5 例 企業・等

を必要とすると考へてある人が記 とへ少数であつても、奥影を説得のも一気かと思ひます。厳悲もた

は七、九十二冊を増加してゐる 有料において一、四三四人、 町華九月に出版すると、関語では へ九九人を増加し、限費局料册數

江原近行。急行日十回管通识名回〇元山出机

江源<u>治</u>行 超級盛行 情數日午後七時 各浦資浦毎日午後五 。

学生 (2015年) (

九州郵船駐出張所

## を良好に導き短腹部血液の循環運動を活潑に、 法により胃腸の締めて腹壓呼吸 は……スグ試用あれくせん……體力の養成を 安恐怖精神の弛緩に惱不脈無氣力・倦怠・不下垂の人・神經衰弱で

能を強化する時日に胃腸の機

の副作用もなく皮膚の毛孔、 す。最近此等の點に意味しこ 外顕微鏡によれば其の活動状 恰も微生物の如く活動し、(限 氣孔より脂肪中に自由に浸入 膨を見る事が出來ます)<br />
なん して微妙に而も强烈に働きま 

を発生されてあますが、 変更されてあますが、 変更されてあますが、 変更されてあますが、



れを應用して發明されたのが目下定評あるレオン

夏の終り頃、よく、黑くなつた麥稈

★素白美力强●有保黄硫ドイロコ性活●許特竇專挙

活性コロイド硫黄の―

悪●ニキビ●シミをとる

美白消菌作用

康を増進す/ 力を増加して健 循環を好く抵抗 胃腸が丈夫なら として用ひられて相當の効果を挙げ 化、播製硫黄、沈降硫黄等が皮膚病 丁を硫黄で綺麗に無常したり、艾湯

殺菌力のある事は一般に知られてゐま てゐますので硫黄が漂白力の强い事や 脈を覚したり鄙作用を越した 美官にする美容がとして用ふ す。然し此の硫黄は人の肌を る場合、斯様に粗雑な儘では 其上及透作用部弱在爲奏功

なりますと効力は敷倍となり の硫黄も一旦コロイド狀態と 修質とは参りません。處が此

**酸酸しなければなられる** なければならね。その基調として 領をして皇道の大義を服膺せしめ の日南一盟、鮮高低存の永久的基 つて、その努力の指導的地位に立一 来すべく、文化的等力をなすのが一 **下ことによつて、県道國家乃至主** 県道精神を讃するものと発仕であ 追回家の精弾を世界に誇り、全人 加して五族昭和の総容を記 月二十六日となつてゐるから、井上に返附した。共手観の日附は八 を修正し、歌旨の趣を書添へて井

情理を盛したる来解に、一日理能

間思行馬の老发より、此の如く

心師を獲ぎ終うた元田は、臣事事十回、此真古不監の里敷の起章に

なる覚々王蕃の王宮たる彼の戦許 鬼に角化柏者が、雄溶胚単、廣大

「国巡ヲ重ンシ國法ニュと」は元

とたつてある

が出来上る迄の苦心器は、推覧数

|二||寒遊/計画アリテ人ヲ菩薩シ|

院様ニ有之世になどの注文もある。

敬香の瀰浪亦質に此ニ存ス」「此レ我ガ國體ノ精華ニシテ、

十四年の一月二十一日にはっ器と

野ヲ成就シ』と井上が収めた

扇にあるのを定田が削り「器す就 前ヲ治メ葛家ヲ利ン』と井上の賦 田の厳稿に井上が挿入し、『徳韶

為と、温動藝布の翌々月の明治二

公司同胞一般の平和と幸福とを出

に、元田は恋臘命を率じて井上窓 考の係地がありはせぬかとの仰せ 陛下は元田を召して徳目の條に形 に之れを乙夜の既に供した。 上言へば人類協和の大義そのもの **胚性和なるものは、これを大栗的** こある。 南州國が揚げつ こある五

れたといふことは、軽弱統治

渙發治時

を憶

るのであります。この見地から、

永久に祝聞いるべきもの

の人は協和を問題することであ

泉道精神の異価は正に

したら、総理は直も に修正推設し

第四中、設元にも御鮮退之由、 強原申も、批進無之様には至り 致候而も、批進無之様には至り 致に重要之刺縁にて、誰が草案 右は適日も御内談申上候如く、候故、不得止御受申上候。然庭候而談考申上候經御内命を深り

被下加金相類申候
致し置候、共御舎みを以て御暦
百世を得て不疑之行念にて立案 百世を得て不疑之行念にて立案可然と相等へ候に付、老拙にも適には決して領頭念無ご短仰山

する往復文はは渡道も見たが、元

此外に余の見たる教育敷語に聞

た大二シュ

一是レ我カ國體ニシテ人道ノ基

田は内容が影響に苦心し、井上は章

何文章の整層研習に肝能を除さ、

は近江されて 「此レ乃子思禮ノ辞美ニシテ寶 山 「此レ乃子思禮ノ辞美ニシテ寶 山 」一教育ノ本源ナリ」

出典が無いと井上が削つた。

價 童

13 金四円五十四半外四十五億

▲ 金五円町十個(機身者又は

祭巻東京三四七大・世神七三五 祭京神田濱田町一(磐師合館館)

· 面現暗接遊院選取、常世之風

らず患見申述候間、可然御取捨候、就加者尚不之目に定ひ、団後節殺行相成度、初に選呈奉存

遠道・五倫トラ遊成シテ國威ラ「敬育ノ嬰ハニ語ヲ知リ、仁男、

加へ、並石州新之文となり、然質大之一事に候へば、覆又精を實に百世之征道人心に賜保する 《思示之服器說領院。 如此緣, (前睛) 政資助語案に付き網

> 見たものとみでも十三道ある 来せる教育動語の草菜は、自分の

成されと兩人は歌然此気を挑した

元田、井上の出勅許に就ての交

間々當時常酒句松祿遠へ潛在器

属々たる自我認識を離脱して

少をしてゐたものである。 井上及び元田は文字通り魏骨の言 井上、元田との間を往来してゐて、 上の送った七月二十三日から正に 一ヶ月餘、。陸下と山縣、芳川、

るからである。

說明書 體駐集

程色自の肌になられます。

れつき色黑の方でも漸次に白くなり、醜いニキビ 難な活性コロイド硫黄が使用の都度多量に發生す シミ、自粉焦や小皴等も自然に解消して見違える る様な仕組になつてゐます。從つてこれを使ひま 一時の出焦や雪焦などは極めて容易に、生

沈顔クリームでありまして、此の保存に極めて母

能が見を持ちより配々似正常確立しとの結論に封建し左の請願書を得

僧に職保地が住政のではを続くそ

江岸住民の苦衷を代表して

三氏委員會へ

收收

(養)(の)

廣州の稲こき

災害復舊で困難か

なつたが、事務に支限なき間間を一般の幇助放選を行つたが本半は昨 『後頭森塚鷹崎を派遣すること | 消挽回のため水塘関係防電が

一のをたて十一月廿日銀月日間版都

非の三代十世紀の間を放送す

の打合せ間を聞くことに内定した

、軍威、龍道、伯州各地は記、「づいた殿南では非平城海徹内の路 張各郡守護城、水川各郡は沿、「づいた殿南では非平城海徹内の路

代表者道臘に陳情

一般に出、三時半から本盤版に移一断、其形智が成六氏は二十七日午「も数四」医生程度の資籍は常然容

する處から即職、西田、統松、黄り、馬山としては難談点の一部即

主催の下にサ九日建安二回馬山崎。配道から隙間だけで、て、隣山の際、「馬山」、隙間配対路線能に馬山市(今回の打合せ線能には観測機能の

固城の文盲退治

更生學院八十校に認可

來月初旬一齊開校

にを極めついあるので現在で配置 既に伴つて動便配選出務が増々多 では、1、19日本は、19世の中では、1

承報することとなり、さしもほめ 時五十分散館した

大町とと地ではは単光砂地に

慶北で派遣

一度の事業根据のため加引、混合

馬山商業校

柳州一作を施すことを條枚として「物を除版するとの言則を取消し四級門技師に現場成分を依頼し充分」と聴音、部門氏も前日の自覚で建

するので、現に來統中の道意識部

組合としては結婚行為なきものも形が かり管理者に更めて質問、管理器

農會事業

上作を條件に

が建築を承認

**핸營校不正建築の縺れに漸く曙光** 

嘉戸氏の越權行為も解消

跳で質問説計を急いでゐたがこの一路を十八分の一の級勾配に切下げ る下蟾蜍の切下げて事は府主本、現在標高九〇メートルの念録新五言性の交通路として重要配き、「東着手の方針である、同下事は「重計職」の報告を表して重要配き、「東着手の方針である、同下事は「一個職人完成したので設可あり次第 認可あり次第起工

を辿したが返回は何内各型校生徒の選でオリムビフタ大概無判院制 に公開し非常に統領であった 約一千名な間は午後七時より一般 朝鮮瓦電社 屋落成披露

內地視祭報告會

「大町」釜山月報大品支むでは里 新築上棟式

## ·金山] 府内土城町一丁目に丁四

内外になるが一方、道思や違反でした

著々能に個化され時付集生の活泄 機能を置きれた語は一年間に七百

土師如事、山本府武、立台側頭の「統護師正に昭出し一般の御万級助」た、陳波田所とも隠跡コンクリー「事報告下事者参酌に次いで来数」向にあるので配符書面ではこれが、はこめ職院書会武地師派であった問巻、春催心長撓縛、管支配人「関のみは抵拠されず網方滑加の間」所の新光系院武錦行、東大韓副長を招巻、春催心長撓縛、管支配人「関のみは抵拠されず網方滑加の間」に、東京町及大領副との職務に対していません。

大邱の兩派

地元と銀月兩面が

鎬をけづり猛運動

病毒が原因する

釜日大邱支社

| 約十六萬間で消じ登は一日富六斗| 婦人間長等三千名に佐娘母を建議 【清州】是位署省内の首地部は中一起、區長、提與首長、青平明長、 農村の中心人物に

難見電館此の此屋湾成使落は廿九

英国を投じ新築中であつた朝

【『八郎】四様大安の二十九日午後

もたまには病虫説を覚れて一種の は低量の如くであるが、この内に ため惨めな状態に陥つてゐること 後習起病及で衛虫の酸来があつた他地方に比べて激しかつた上その他地方に比べて激しかつた上その

東つての實地量は最く個の概念で 取つての實地量は最く個の概念で 形と小作物が不足の概念で殴材に に動色が元盛してゐる

## 起離があつて既曾郎に祝芸を聞き一に俟つべく二十九日、管内面臨職「ト洋式平炭地で建坪士三甲五合、「上種式揚行

億の鱈卵を放流

の新築山間山紀野山令部樹田町) 【学山】本月上旬か日間の後足で「内地・町市流線製造館を開始する野

豫想以上に固城の稻作 京の後、聖武一同へ町小を映へ、「応道器を破棄し正中週川に向ったに川片器長から響内状況最高を聴えの働き質が選、太郎脚迎呼、海底に吹き、十九日午前九時旅游器 自動和でき起塞、郡職、昌華都所館に吹き、

松山簡易校の

责

三四年山間易野通学女は最初模範 | 阿特毘を提出すると共に智慧地と 【国政】本年度設置設別された日 | 七日は峨月里昭有志十餘名巡響

つたが地元以の複雑もあり松山里、魚氏所有田三干庫を春針し緑夜戦車年部落戦月里に脱離の計機であして李在徹氏所有第一干庫、李啓

第二部に授出、日下書組役及会で 地の原供をも申出で互びに説明で現立は確立現に付置が開盟とな と決定服校した以上今興慶迎するつて深た確定出来する。 ことは由々しき励識で都常園の飲むしたは、 日本の原供をも申出で互びに説明する。 ことは由々しき励識で都常園の飲むしたらす ぜに空続されてある

女流演藝の夕

した次派大衆演奏の夕を永月廿四つたので今度は解人ばかりで組織 [金山] 松人加級の放送を試みて | は甲山花、二十九日は循州郡 JBAKの試み 初州郡は武本金百二十五五道、 柳山がは資本金七十五四風、間安 即に帰せ人間が開催されのは組織 に脚し具版的協議が行はれ結局、

> ると、病然は益々避行して、思化 へ向ふ時は、その治療を怠つてる

る病態です。何んな病でも、慰命

る、内臓器管の壁物と、性質に乗りには胸腔を起す関節を指轄する事

も出來るのであります。

ありますから、血液部化と共に、 を有し、耐も全身的に設造出作が

(神経)によって起 | 未然に防ぐ事・出来るし、事質上

遊性の母素を殺婦、照世する作用

ベルッ丸は、服用を観け

であの注意を要す 既後ましば、「中門」

極度性重症も、治療如何によって

治療にはべ

ルツ丸

え症や便秘等に注意

脈硬化とせきずる癆

慶尙兩道の水産業者を集め

出級維耳は大衆的き本位で流行「柳奇秀氏、森斯宗寅薨氏、嬴川忠・衛門、佐門、伊衛(昭分を)は資本金五十萬圓、御夏科斯信式の名も)小良、端則、任徳(昭分を)、公の、第一のでは、「これの、「はいい」といます。 弘務李長鏡氏にそれる。決定したは資本金五十萬圓、龍長科勝紀氏

キに住所氏名と既認証目を記入し 隠れた消人女盗監察者は巨関へガ

【馬山】打越射内務部長は採月六

ある。合物版

ルツ丸體験實例

鹿兒高黎肝陽郡 川 合

祭吉

活動力を整へ、 には、金級高

翻牌明朗となり し、脳色がよく ので、その範囲

梅毒

一製作館には、脳波群化を目的とす|騒艇作用の他に、各臓器を総へる

事を恐怖するも

一門して、この選供概なの「新世代謝が旺んに立つて来ます。

東京で開催される整備総務 愛婦總會出席

田旅湾は大選左の通り
出版湾は大選左の通り
地方の記録は、総名館の流通会
のオール旅歌士が毎日の総額に出一吉の町近三海峡で地方国民の歌迎
場合館、周水遊館
場合館、周水遊館
のオール旅歌士が毎日の総額に出一吉の町近三海峡で地方国民の歌迎
場合館、周水遊館
のオール旅歌士が毎日の総額に出一吉の町近三海峡で地方国民の歌迎
のオール旅歌士が毎日の総額に出一吉の町近三海峡で地方国民の歌迎 を記する質であるが常日の一打合せを行ふ習であるが新たに作

単版して替ったの最北側の | 士質では十一月三日護額を嫌いて | 確して脚端は単はつ第である

味をかつてるる

選定で出版、暗像は十三日の豫定

候、その日より服用女し候

され、誠に有難く御禮申上げ 注文申上げ鉄起早班御政送下財略、先月世北のベルマル御

族。之れも至く理心師解腎の家内一同将び居る大部に御座

マチスは勿喩、リュの神経痛、リュ

+

館や首席の吹出物も無くたり

ベルツ丸の顔底標と感謝いた

し間り値なほ恐れ入り候へ共

動監視化型、便

砂紅、その他般 之に伊る御野性

所ならま深、金沙、岩型三種と は本年度同様館に出席する者は

分けて、服房、寒させ峡區、果に、前ほ子供にも五回分を

を兼ね、御願ひまで、草々。

職に関係の観響の観響を開発を関係が、関係が、関係が、関係が、関係が、機能を

重ねてお願ひ申上候の右御曜

み、即修尊快磨し、能りの数 限り居り険高の限り、壁の能温、服用日を迫って、永らく

**急至七十五日分師館25日改度** 

朝鮮酒類製造會社

認可下り郡別に發起人會開き

た部別質性組織問題は極々の支援 蔵典に頼出するのではないかと見、日本語の上記統総が関郡との所に武統総長も随い間を未解決のまえ、同、経情の山村経典部長が二十四 られてゐたが、褒如去る二十四日 資本金陣容》決定

密陽鄉軍射擊台

凹脈に 励れて見る

と、硬いゴロ

をお拠めします。

電の、戦闘等の淋の風影の神

歌篇等の線として知られる、ベルク鬼の服用。銀して、経々好節を関しつへあり、窓部、育郷部である。か、要は現在錯極内服敷の進一線師し、現在は国く部外園にも翻り、「複数如何を視門酵菜に資料を受け」「宿飯に射し即郷臨効果を遺憾なく交会身の視巴」る許能が凝も敷臭酸ですが、先づ」ニキビ吹出物等、縄て棚様に依る交会身の視巴」る許能が凝も敷臭酸ですが、先づ」ニキビ吹出物等、縄て棚様に依る

てから文百些治理動に服出し三ヶ

【関城】郡では院游迎勤と共に豫一が面別投政は左の通り(指頭内は

の許可申請中である

釜山辯護士會

評定を閉く

附で京城監督局の総町が下り一方一進度、二千七日間川郎、二十八日 協議打合せが行はれる等急速度に

大に飛行 [永同] 都內地化血綱山 野の展観野歌気台県行

經長者、融力の致無等、容易なら の国軍とか、その他動版便化、神 可様な海状の頃は、 内部は大大々と堪れて来るもので とか、記憶力などとか、運動知覚 低う集 ス 国証、生血不 がはご彼には、 能力が減退する。 作院类、 脚如腰 を行べなくては 病別も既に別

断る事は、壁雷 類米正等の、極

明鲜代理语 豆碱的…新井·木村·公山的…大黑·滕田 TUSHA WASH (大日分一四十二百年分三四十日公三年) (大日分一四十二日 大日 大日 大日 大日 大日 大田 二百六十日 大田 二百六十日 大田 二百六十日 一年 東 社 東 社 東 古 大日 本 東 本 海 二 日本 東 本 海 二 日本 東 東 古 東 東 古 本 東 東 古 本 東 東 古 東 東 古 本 東 東 古 本 東 東 古 本 東 東 古 本 東 東 古 本 東 東 古 東 東 西 本 海 二 四箇東京西五番・留旨茅場八十番 九十号



ませんのかして

は、先づ様が住と見なければたり

電型所に設置があるとかいふ場合

殿図不明で、全身的に作節各部が 節に依る例をお話すると、例へば 提供する。これにかくらればたりま

梅毒と體毒

るたら、丘野原の阿都長や破 (が出来るの論これを放佐し

せんが、此の説明は消くおき、皆

配者版を終記し、「指罪はいつか

関料は、十八日午後三時、田口

天でたくへたが、独設途上の器律

に重率上航二軍大なるもの。 経の関連経緯の使命は重事 陸の建図によって生れた日

一工業計學集別会部指保済 (1) (2) 裏は計算を基出す、創作) (2) 裏は計算を基出す、創作) (2) 裏は計算を基出す、創作) (3) 裏は計算を基出す、創作)

の奉天。造成

まづ舊守備隊跡を新装して

羅津の建設には

針をもつて盛むことに決定し、

が管理を面に行はしめることに

## 「節を下して三月間、三中井五舵本、良水域(白、脳角域)平脳集(生「熔集の配質に対する波響が一部に「る意質へ(トムギ)その他五十時間・十一月三日の縦花簾の関節節の住。閉臓することに決定、加致配は眩」のるものであり、半層なは極近は をはじめ不老長詩と『髪に彫刻な』(年典)領師自秘弾中間支部では「トルで水道極度調楽説の即覚鏡を「殿の真覚を「殿覧器術に滅滅せし」ので三氏九恵真の如き精力度激繁 山の幸即賣會。 都會人士に認識求める 平壌の山林副業展

成の真似を一般指點はに激励せしって不安と不利があるため物作木

栗草、松の質等であるが、吹良木架と甘果)木工製品、釈細工品。

**世子職業師に封する設質や味覚を** 取られて充分周知されてゐないの

炭は在米木炭の品質が租場なばか

## 鴨江の冐耕地五百町歩に

## 期間無者に財し脈平瓊元の 提出して来た 平北道の 斷乎處分

思れ西水稲別道を測断所下の原設と跳りそれより十敗湖の自動型を **に到り、終代信義の郵兆部巻に「後はには津上されたい母様である「建稲動と海径前点巻を起位によっ」ある「江西衆職関主を制機所生の影響」無様すると同様に「明年波の本屋「非帰動金が得られていとすれば重」内に** 

国権業者単に地位制漁港改造に開一党館ではこれを風水電流開金として財上服水湖利用、雄声形物線に行び古間の刺逐金を得たので春 智に對し龍水湖利用,雄虚態物線」に行ひ百囲の朝域傘を掛たので春時度中封紅三郎氏は「十八月南總」地方の風水ボのためなるべく賞耋

りでなく難目、包髪等消型器にと一供するものである。繁華は本道法 山の人跡最な掘垣から深取したも から成異無流翅上で開催がら成異無流翅上で開催

BBK局

り振田の手丸二とのが指摘すが来越、西江市、花都運動帯水和距離合にり振田の手丸二とない。 日前の名内に珍頼した、なは部以上、は時間のは定めをけることにない。 田町の名内に珍頼した、なは部以中張政治局ではサ人日からいよい、日前の名内に珍頼した。なは部以中国の対象を持ち、 | 平場|| 新く諸殿の柳備を臨へた | 所は何公暑問題に伊ひ去る二十 合格次第に本放送

すうことになった、株式の内容に

現代書道界の直鎮として精進しの御創立成然先生の主等さる本の御創立成然先生の主等さる本のに創立成然先生の主等さる本の御創立成然先生の主等さる本のに創立成然先生の主要さる本のにのなりません。

がいと乗した成果土地金融が

【製具】成果無虚との姉妹開館

幹部の証觸

中野祭者では三十日公園村野草で城洋署射影(城津)城

## 

して精節なる検査をなすことになば自由に開始するとになってある。仲四分と色分けされてあるして精節なる検査をなすことになば自由に開始するとになってある。仲四分と色分けされてある。

## 財産対象會を開催

設立の工作進 専務には前南浦税務署長

河野氏が就任内定

まかま。 その美術的にして質用向なる路堂 が、程・イ・草・仮名)其他は先 強力了率に責任指導致します。 悪切了率に責任指導致します。 離人で・入會出來短時日に務堂 たの真鏡が的にして質用向なる路堂

経(上・下巻)無

置

「銀鷹浦」 近本金百英四、平南山 域の設置がないため終れ頭である。 内部制御選集者を打つて一丸とす。 る平安通道領域の設立については、いからこれに表述すべきである」 がの調準氏を平線で制御を中心 に下作されてあるが、下垣窓前裏 に下作されてあるが、下垣窓前裏 にのいては、いからこれに表述すべきである」 ・のの観光氏を平線で制造の表立して、かのの発生については、いからこれに表述すべきである。 ・ののである。 ・ののである。 ・ののである。 ・ののである。 ・ののである。 ・ののとのである。 ・ののである。 ・ののである。 ・ののである。 ・ののである。 ・ののである。 ・ののである。 ・ののである。 ・ののである。 ・のである。 ・のである。 定される模様である、本月二十二 別は平度、鐵南部二ヶ所のうも選

開城博物館

写現促進亡邁進

**現成會で悲壯の決意固め** 

てをりません、平安西造館社へまだ今後の身の撮方等何らまめ定と際へられてゐる、同氏は 新一氏が同題代表務として入事時日付退官した議南開展務署長河野 多数を指令して記念式を発行し要者成の制御で午前九時官以有 

現を傾したところ結局本事業が一代表委員上記、親しく常局と抵動 方法を如何にすべきか一につき急 むべきであるこいぶに一数し近く

がとに對し回後期成節のとるべき

と医療に附してゐる

し所以に小郎することにな

タローム 七石 六円二十四 長角型 日 十石 七円四十四 タローエ人野 七石 九円二十回

給核退治 平壌陽院に

林良作氏を 口説く模様

月四日午後一時と決定した、 十五名の公所に對しても結核網 無料蜘蛛科誘那を設ける外道 動に全力を注いであるが今回思 打倒航楼を目ざして結核関模様 ことにたり治療と養生方法を敬

(其他各種掲載型錄贈呈) 中京東京標區銀座中了目 東京東區級座中了目

代金引

1

疾性核

盤天

堂

|弾射動金が得られていとすれば直|| 内に本が楽丁事像景系は州島園で日都れると一日の様であるから図|| することに決し向九時戦勢した、 **咸興商議** 會頭後任

後任韓原には堀田副町町の昇格論 禁一部氏の展男無強化長降氏は廿 と球長作氏態立識があるが朝氏と 七日正式に決定したので成興商論 **心面解しつ、あり組局林良作氏を** 成與一成與何工師部所發到信川

火手の大然り上に の相談所新設 なんでも一切利用される

から防火担敵都を設けて
コーカー日。手する語であるか落成は八月上交段力を注ぐことになり十一月一日。手する語であるか落成は八月上交 **書題研究では火事の未外院正に一一解氷を登つて本垣配工仕上げに着一であつた新鶴瓦建局翻倉期に大手」ることになつた「年週」火災シーズンを迎へたが「華内は十一月」配工事を鑑け来春」ことになつたが超常り郵子価艦網「連弾をことに終して火火に開電す** は九月星々とみわれてろう。 平壌府消防隊の防火對策 七百年の廣大にグリーン地帯をつ 特に、守備総称にある第大大権制【琵琶】延青内地人は智民商事物「なるらしい うり着大北部の天観に聞いると同

民會事務所移轉

口説き落して配他せしめることに

【阪興】成型が総所は水る二月の

**咸興繁榮會例曾** 

計研究會機大特別あり、機大特別あり、機大特別あり、

を解放的し普遍版を観光する哲例館を開催し組立以来の紅製落他 **学三時から駅 当山豊浦館に第一** 

華川の射撃大會

音回長に就任したいめが長を降任 し加助の長、細幅は氏がは長に昇 【無日】劉爾務所反は一川切代延 育し後任決定

勞働者引張り凧

咸南百八十三の工事場で

八千人近くも不足

当は第三組として延吉替経順内に

になつて居る

本次英原因の週旬と提所方法へ 自体市的の衣帽と趣味を記してついて、温学安して空場等を 領人心情超数の選集政長と連续 個人心情超数の選集政長と連续 「水槽の設置と水散の防火方法へ地 下水槽の設置と水散の遊告、そ

延吉商務會

【風典】威南道で制食中の等態語。| 公慰を設けることになつた、順島 | 管の兵機氏が駆抗として當る

**造つて単編かり火車をなくすべく** でに膨することになった、一般所でに膨することになった、一般所

咸興公會堂

丁事場に撃する労働帝四萬八千九

百七十三人に對し、例六分強の七 十八百七十三人の次不足を告げて ②明治する著で観音電腦を主意器 【反異】異電明明期同にはまた神公智と風経、十一月一日から事幣 神機設防直不認明 神機設防直不認明

一月一日(日曜日)推薦解練の日を押し頭強大會を開催すれば明明支局では過友會と附内統師大栗店の後辺で來る十本社開吸支局では過友會と附内統師大栗店の後辺で來る十

で錯行、引腕き間断で熱切するから視朝鮮人民會事務所で開聯

11中風

圖

川街

長

潜

任

語地區繁體司令部期間兼延日 植野憲兵大尉 [延音]

開城競獵大會

は今回新設閣大列市區長に豪藤、 関氏は相撲へてニナ八日本戦支局 後位として供製設取が着他したが 一般院を認けれてるたが曲式光氏 一種別山流長とし ります、国所は辿つて通知)参加領希望の方は常数二面を役式時まで、郷豊は慰惑とし同夜七時から歌祭観隆級を理ることになりました、出趣は同日平野寺寺以後、闘者は午ることになりました、出趣は同日平野寺寺以後、闘者は午

遊へ十月末日までに本起朗城支局(趙城西本町、電話四四

六百)へ即申込み下さい

指紋事務公署

・ 1500 A ことの出来ない出籍の典 | てき化し、配同鉱学化に受り出す | 漢を十二国になる各国に指数事務。 | 出事機に至るまで駆使の弱として | しく環境を利用しなと深の弱とし | 今回発済の迂間化を目隔として経過を1 方奈人は日経歴研史の弱としてのか大応問として発に之 | (第四) 弱微層圧緩高衰弱のでは 今回養務の短額俗を目的として登している。

「上」市街地の賃付も順調に進みつゝあ」で、観光階や経療航代版の観察に

都市美化に備

開城銃砲火藥店開 城 獵 友 會



げます



中 東京市 経行の で 下の 世 端まで 不 自由な 中 真 京市 経 日 東京市 と まった まった と まった まった と まった と まった と まった まった

元

本語の大学的に対する。

「中国」

「中国 無、質性の優秀なる成権を北海道醫學大會 なと自働的症狀が著明に覧解する短時日で をと自働的症狀が著明に覧解する短時日で をと自動を表するなど、 をとして、 ととして、 をとして、 ととして、 とのじて、 とのして、 、

肺門結核、共の他腎臓結核、カリエス等の髂準博士 橋本久先生は多数の肺結核、 橋本久先生は多敗の肺結核、

籤(細菌の単菌)に診透到達して強く作用 されたり、本別は生體内に注射され結核病 り本年四月開催の日本結核病學會總合に於 な無質に最も提試ある特別講演として強要 本側の優秀なる治佼成級は有馬博士によ し結核性疾患を原因的に治癒せしむ。

「略接中の菌数も著しく減少する、赤沈 で本側の効果を讃喚せられておる、其他集 設备、小學會、座談等に講家の治験報告は 設備、小學會、座談等に講家の治験報告は で本側の対象であります。

關西特約店 株式會社 九三星 薨品 1 · 株式會社 田邊五兵衛商店大阪市東區道修町三丁目 株式會社 鳥居 班東京市日本梅區本町三丁目 接替東京二二六八四省 本 元 式 134 會 店 ñł:

(院明書一手販寶元上日無料贈呈)

射 新用 治 許特法製 淮

製創士博邱一武川鮎 授教助 獎推驗實士博二英馬有 授教 部學醫學大國帝道海北

金四回 渋科 順星地内二番

◎必ずホリックの西標あるホリック漢字水治局がどお求めあれ

法 研究

見所

包莖一部に成形できるであ

次代疾患、局所疾患に因る―

しれは世に性病

◇ホリツク眞空水治器 登 錄 商 標

醫學博士五十餘氏

實驗證明推奨

圖入册子無代進呈

中の場合とのではい

大な効果を開始せられよ。

男子性的転換が一個の人できる

重作用のある

て午種様ホルモンの下圧をを呼吸。いかのか用は、細胞の低部と相関の低語と相関の

対氏根本治療は明存し難

◇ホリツク眞空水治器

一位「陰画」同様の効果により、新に、胚曲無無などの変形を確しることが出来る。 である。

性器發育·機能回復の

る困難とせられ

## その唯

## 速に正常復活を計れ

## 東帯することも出来ず、男の恥撃 して體力、腦力共に衰へ郵底世に であるばかりか、生理的にも影響。 地で発力、脱力共に衰へ郵底世に いたもの者格に缺け、 男の恥撃 性器短小(又は屈曲響曲等)はなことはない。 療法 原理に基く世界的機器が貼ち「本土によつて創足競表せられ、その法が米國際科大學教授ホリック時



## 計膽





腺病質、虚翳兒童著物助膜炎、結核性錯疾患其他貧血諸症、肺結核惡能疾患



創立明治参拾貳年

朝鮮商業銀行

マニラロープ。

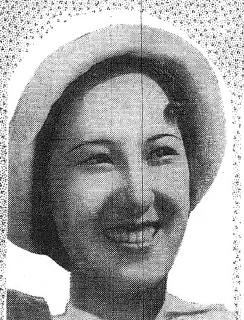
ミシン絲







## 言表示区の消료化区で青麦素















堤 凝佐子







あからレートの肌色に あからレートの肌色に がいるレートの肌色に りき立ちます。

れて、素鳴らしく

豊かな感じのうちに、近代味が温 ・眉は三日月型に描き・目は上験 なしく財しい感じが調和致します に隣目にボカシますと、ふつくら つた様にパッチリと・短紅は外側 に沿つて一本線を入れて、鈴を腰

面長の方

純日本風の瓜霞湖へお独りもなと

原のはないはないないとのでは、 子がない 髪の毛と下げて観をせまく見せま 目に、横長に平たい感じにボカシ 口紅をつけ・開墾は心持ち直線的 にハッキリと引きます。雑組は藤 梢々越目につけ・口は小さい目に お顔の特徴です・白粉は顎の方を 怜悧で、理智的な美しさか痩せた 税く叩いただけ! ト静白粉をボン ( と 村田初代 ツキノ 事 な 

痩型の方

ま 若 も 肌 の

流たと用動地方の産業は単規総に関節で時代の出域を失調が起、京客網の超減化、等由、周由、遊ぶの開節

央線や南鮮方面はすん

かに北鮮滿國境開發

度に北鮮黄金峰代を出現するとになった。同時に最近非常な勢ひ

當時の李王家の内特に通照した人

氏、グブリッス・ヘンホット氏等

順にベルリン遠能電の内紛その他 使であつた極極助男、小宮三尾松【東京産館】東京オリムビックは、さぎに東京経廊院で元齢劉公」「木戸」(中国)

原、郷地質局にの内地資本心政策の今後に極めて社目されてある。「総を極めその既行に代目されてゐ」で設計する内地資本も経済同境方面に回って投下される機能で本。| 々を訛人として調べる等級物は最

となってからは既に一般の場合

校長の胸密を操作して聞る記載を

京上り別市つて米た既戸遊礼、安

部題をおともに計日午後日時四十 分(甘竹加羅)の特温「のジル」

こん度はご悠つくりです 夫人は五十八銀の老師にも揃らす つて底製を解いた。 歌かれ、初の御袋抄を済ませて 他各方面の夫人連中の釈迦陣が 人、勢陳婦人曾、庭防婦人會其

四言紀句に託して

息一平氏及び哲別から兄の身を深

け、闘宅するや夫人せきさん、令

主が野を訪ねて紫殿龍の手営を受

「社役を決恐、二十月十前十一時

るたが、下獄延期頭」に先立つ

を示したが、他よ自宅を

近親家族ご別れて悠々ど 小川翁下獄の心境

能の老の母に實施

と南總督夫人

人を初め木府郡周提夫「去2二十七日東京を府總、途中伊一府後八年の保証と遠に終って先月一二年の報決を高渡された小川平。

**大名**(八名列隔日交替)が居て京一而東町、往十里町、**臨**受謝町大観 四江通りの五ヶ所に派出所がある 一名、腕用ボンブ (手押ボンブ) **菱金町、本町・機戯町・光化門・一あるのみで、他の豚戯には常備となれて、 京城消防窓の外 値かに永豊浦町に添出所が一ヶ所** の派出所には何れも二部乃並三 法專の鷹松校長に 在任廿五周年記念にかなりのででは胸像を贈る。

が各二三番の出版所が常面されて

「城に今一つ消防署が新設されるといる火災シーズンを前に控へて」 一を期するとが出来ないので加山、 道警察部ではこの形状で

魅ってゐない、即も現態の脂酸」は健師出來るが というとない、即も現態の脂酸」は健師出來るが の不便はあつてもまづその聽能 関語は、好感聽態節と始極して紹一學の不便はあつてもまづその聽能

一方編入された新市街は

抵抗なかった、住民は戦々鋭々と 敵少な抵抗あつたのみで人語には 止まず、但し一部建物に

酸あり、年間八珪三十分に至るも 四時四十分突如グアム島一帯に撤げてケアム三十日同盟】三十日下町 なるらしく、その結果出版所は昇 グアム島に激震 派出所となる情報である

場所は手薄の『西部京城

**來秋は新府域も安心出來る** 

です。本がけて空声機はほんと、 です。本がけて空声機はほんと、 に顔かで機定した、長族といつ。 に顔かで機定した、長族といつ。 ても前には新足さで参りました。 も、機動が微しいといつでも年口。 では、大きなというのか深り。 では、「大きなど」といっても年口。 では、「大きなど」というのか深り。

人の態として離かれた

なった、實現は災災の十月頃に

々のよき相談所として京畿道藝祭 亦を清算し、出生を整つた人 出雲の神さま 更生青年に女學校出の花嫁

いる際しい語

まると もで強煙がによったの本年 川町の昭塩館は、調立漫一年を建一年の報酬とは、 大が和司をは高年によったのがあり た今日これは気田霊の神とたり郷、顔を通れて同郷主事が川さ して色々見せて最きましてから して色々見せて最きましてから して色々見せて最きましてから して色々見せて最きましてから と年載りで今年二月線同世 た中載りで今年二月線同世 た中載りで今年二月線同世 た中載りで今年二月線同世 と中華の子りといたしたい彼りで 局世大・、福堂の上 での子といたしたい彼りで 局世大・、福堂の上 での子といたしたい彼りで 局世大・、福堂の上 での子といたしたい彼りで 局世大・、福堂の上 での子といたしたい彼りで 局世大・、福堂の上 での子といたしたい彼りで 局世大・、福堂の上 での子といたしたい彼りで 局世大・、福堂の上 での子といたしたい。 水削より:精繁粉(でした)と良く機を述べてるた、

館を辿れて同館主事が川さんに時約一年で今年二月製荷田所、昭运 人と出題への金融と大野以務認監

古川主事の粹な扱い -京城松思町李菩熙打("人)

を願べてをらず、その口吹とり。

は主張の状態である。

して 通路場に 検疑され、未決生 高

送売人方は

なく機様取調べ中であつた、去る が城、観音者では、事性態生後間 共犯は収調ベ中

五一異点明氏方を関び京城府内 

が組織のもとに別律を施して

勝馬の刻き恰も電影

成の統領を関るため解制 鐵道局お布

个極利行軍六聯隊單個隊的

勝造先生著

康法

突起し、関系その他の理由に

からは寒くなるし足のリエーマー類は心配ないさうだが、これつて下線の心境を固に維行に記し 野野しを受けた者の或は内 当ま木目を利用して拾つた枠機関小學校五年生安他智君ら をそのまし期鮮船

中等、専門・大學等一に經路談に申込み跳を使用するや一氏は、下級前の強ひを纏町脳内器

他の就職希望者に注意を通知

つ内地及び卸内各學校民に通知を

務關係は内定した

一つく老絹の心境は、見残る緒の心 電車でスラる

可を大能と問念して聴々絶役の概念かきむしるものがあった

李賢在氏の請求

上告棄却さる

百七萬圓事件第一銀行勝訴

共にし、営石剛版の人だけに一

上京した財務修平氏等と午餐

聞をスラれた、各省で北人地管 近江までの電視内で現金二百五十 品はこの間に、光化門通りか

**新型の資第一銀行を相手取つた。るとの物決言語あり、第一銀行は加重信義は「八三季敷在氏が复」田郷神屋から顕伝の語来を乗却すて東京に話』朝鮮殿館は近期川郡 | たが、三十日大戦続氏乗発三部財** ほつとした跳である

一規在の倭城台館会から来、 門け大市通りに要聚した総合

規金百七萬面の返還請求訴訟再他某市丸の内第一般行を相手取つた

松間製氏は廿九月年町

體協質長には

絶對になら

松平伯語る

キリンスタウト 加州

元 看 護 場及は門祭事 ポード 円 梅 寫眞数腳人用 龍山三角地 大內四面計算人生論

特別會向



第二十二月一日から原始的と一部総府間でテストの結果が臨り が3 1 「のぞみ」よりも「関節学の大学」大阪開催に発すする か3 1 「のぞみ」よりも「関節学のスピード・アップでもの が32、2を機関車とは、工費的十五曲で用稿度研製作所の手 が32、2を機関車とは、同様であるが、高速使用として単価の 新型におったした原告のの機関の軽減れである。

なに述くまで……」

「調べてゐたことが終りません」

たがら脚下を通つた

が居られるだらうとは形はなかつ

醫化學 中村拓博士



氣象特報

## 憩みなきそれ學究よ 唯一の趣味はなにだらうか

生村東

これはやられたなと思いたがら優

火却が心配で……」。 でそれをいふのちやありません

一若い教記録の一人が職別に包まれ

今日の天氣

※ 京日案内

三四 堅銀 區 横 京 市 京 東 版 出 鷹 中 ○四二 五 程 京 店 覧 九 九 二 三七 京 東 書 載

四式健康法海外より申込大殺到! 的に大反響の西式健康法新名著!

老數に挿入し窓筍に詳遠した健康への最高組織者である。 と歌に挿入し窓崎に詳遠した。 「風上で何人を認住家行出来るように國幹 と歌に挿入し窓崎に詳遠した。 「風上で何人を認住家行出来るように國幹 と歌に挿入し窓崎に詳遠した健康への最高組織者である。」 上奶的人· 颇名美本 定價 臺圖 五拾錢

事店へ!!

高麗、李朝為龍山焼賣<u>工</u>書 畵 骨 董 献

びれの講

和元 株式會社京城美術俱樂 場所 《熊福斯三音 日時 計論《明典代》《